

日本留学促進のための
海外ネットワーク機能強化事業（東南アジア）
「委託業務成果報告書（令和7年度）」

様式第 15（無断複製等禁止の標記）

無断複製等禁止の標記について

委託業務に係る成果報告書の無断複製等の禁止の標記については、次によるものとする。

本報告書は、文部科学省政府開発援助外国人留学生
受入推進事業委託費による委託業務として、岡山大学が
実施した令和7年度日本留学促進のための海外ネット
ワーク機能強化事業の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等には文部科
学省の承認手続きが必要です。

1. 事業概要・目標値までの進捗状況

本事業では、岡山大学がこれまでの前身事業 10 年で培った日本留学に係るノウハウ、リソース、ネットワークを継続活用しつつ、国立六大学連携コンソーシアムと日本学生支援機構（JASSO）をはじめ、ASEAN 地域の政府・教育機関、本邦関係機関、帰国留学生会等との連携の下、オールジャパンでの活動を更に発展させることで、早期からの優秀な学生リクルーティングに貢献する。これにより、「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」で提言された 2033 年までの外国人留学生の受入れ 40 万人計画（うち 2 万人は高校生）に資するものである。昨今、留学生交流が政治的・社会的要因に影響を受ける事例も見られることから、我が国との確固たる信頼関係の下、長年にわたって交流が行われている ASEAN 地域からの留学生受入は、40 万人計画達成後もより一層重視して拡大していくことが肝要である。

本事業期間は 2029 年 3 月まで、ASEAN からの留学生数目標値は 2022 年比 1.87 倍となる 103,861 人に設定している。この目標達成のため、昨年度までにインドネシア・ジャカルタに拠点事務所及びスラバヤに連絡拠点、インドネシア大学内に連絡拠点、マレーシア・クアラルンプールに拠点事務所（別添 1）を設置し、両国に駐在型の留学コーディネーター各 1 名を配置した。現地スタッフは、スラバヤ連絡拠点の既存スタッフ 1 名に加え、ジャカルタ拠点に 2 名、マレーシア拠点に 1 名を新たに配置し、最重点国での活動を活発化させている。既存のミャンマー、タイ、カンボジア、ラオスの各サテライト拠点には前事業から継続して現地スタッフを配置しており、現地語できめ細かい日本留学相談に対応することで、受験者数、入学許可者数ともに増加につなげている。また、シンガポールとブルネイには今年度日本留学資料コーナーを設置し（別添 2、3）新たな展開を開始した。なお、出張型の留学コーディネーター 3 名は、サテライト拠点の管理運営に加え、ベトナム、フィリピンでの新規サテライト拠点設置に向けても活動を展開している。

本事業の強みを活かした有機的なパートナーシップ連携（LOOP）モデルの成果の一例としては、北海道大学や芝浦工業大学、大崎市立日本語学校等のインドネシア現地セミナー開催支援、本邦機関 20 大学が出展したミャンマー向け日本留学フェアの主催、タイでの地方留学フェア主催、ラオスへ留学中の日本人学生と連携した日本セミナー実施等が挙げられる。これらの伴走型支援を通じ、本邦教育機関が現地での留学生リクルーティングにかかるノウハウを自らの経験として組織的に蓄積しており、将来的な活動の自走化に向けた基盤形成の一助となっている。また、より質の高い日本留学相談対応、日 ASEAN の教育機関マッチングのため、日本留学情報や現地留学ニーズの収集、ネットワークの新規構築等に注力し、データベース化を進めた。

2026 年 3 月末時点では、2025 年度の外国人留学生在籍者数調査結果が未公表のため、留学生数目標値の進捗状況は確認できないが、指標①SNS 投稿数は目標の 2.4 倍となる 4,043 件、指標②日本留学フェア・セミナー来場者数は目標の 2.5 倍となる 34,869 人を達成した。なお、指標②の総来場者数のうち、73%となる 25,078 人（前年度比 1.6 倍）は、帰国留学生が参加する日本留学イベントにおいて助言を受けた日本留学希望者であり、帰国留学生会との連携を重視して活動を進めていることを示している。

2. 各国におけるネットワーク構築・拡大

【最重点国におけるネットワーキング】

最重点国であるインドネシア及びマレーシアでは、留学コーディネーターの精力的な活動により日本国大使館、国際交流基金（JF）、国際協力機構（JICA）、日本貿易振興機構（JETRO）等本邦機関、

帰国留学生会、現地の主要大学・高校等教育機関とのネットワークを構築・強化した。

インドネシアでは、9月に駐在コーディネーターがビザを取得し、現地駐在を開始した。これに伴い、現地スタッフ2名が勤務を開始したことで、現地語での日本留学相談体制が強化されるとともに、機動的な活動の展開が可能となった。そのため、今年度は様々な機関とイベント実施等において協力・共催する一方、積極的に現地教育機関主催イベントへ参加することで、活動の幅が大きく広がった。中でも、日本学生支援機構（JASSO）インドネシア事務所、日本国大使館、在メダン日本国総領事館等とのセミナー・イベント共催・協力により、10回1,231人の参加者に最新の有益な日本留学情報を伝えることができた。また、これらの活動により次の活動につながるネットワークが構築できた。

マレーシアでは、2024年12月Universiti Putra Malaysia (UPM) 内にマレーシア拠点設置後、2025年5月にUPMの共催を得て開所式・開所記念セミナーを実施した。開所式には、昨年度（2024）の活動を通じて構築した本邦機関、マレーシアの大学・準備教育機関、帰国留学生会等38機関とのネットワークを実質的に活用する機会として位置づけられるものとなった。式典にはUPMをはじめとする関係機関に加え、本事業の協力機関である国立六大学コンソーシアムの構成大学が参加し、拠点を核とした多層的なネットワーク形成を一段と進展させる契機となった。結果、これまで日本留学情報が相対的に不足し、活動も限定的であった東マレーシアへの本格化な展開が可能となった。具体的には、日本語及び日本文化の普及促進において中核的な役割を担う在コタキナバル領事事務所との連携を強化し、同事務所をハブとして現地の日本語教員とのネットワーク形成を実現できた。今年度の一連の取組はネットワークの拡大だけにとどまらず、地域的な拡張と具体的なリクルート活動へ発展し、持続的な事業展開の基盤形成へとつながった。

【各国における具体的な連携】

インドネシアでは、ジャカルタ・スラバヤでのJASSO主催日本留学フェアを昨年同様共催し、ブース出展した。両地域における本事業の積極的なプロモーションの成果もあり、昨年を大きく上回る来場者（前年度比1.2倍6,528人）があった。本学の協定校でもあるボゴール農科大学やインドネシア大学との良好な関係により、両大学主催の留学フェアへ招待参加し、併せて203人の日本留学希望者の相談に対応した。加えて、一連のやり取りを通じて両大学の帰国留学生や教職員らとのより一層強固な関係構築につなげた。今年度初の試みとして、日本国大使館や日本人会などが参画するジャカルタ日本祭りにブース出展し、日本・日本文化には興味・関心があるものの、日本留学フェアには来場しない層223人に対し日本留学を訴求した。また、JASSOインドネシア事務所との定期的な日本留学相談会、説明会に加え、高校生・大学生を対象に、本邦私立大学や日本語学校とセミナーを2回共催し、385人の日本留学モチベーションを高めた。また、今後の留学生増加の一端を担うのは学部留学と想定し、学力的にも日本留学が現実的な国内トップレベルの高校6校を訪問、日本留学セミナー実施を通じて1,158人の優秀な高校生に対して日本でのキャリアパスを示した。これにより複数の高校教諭とのネットワークが構築・拡大され、今後の活動の面的な展開が可能となった。

マレーシアでは、2024年に日本留学資料コーナーを設置したマレーシア元留日学生協会（JAGAM）と東方政策留学生同窓会（ALEPS）とは、4回のイベント連携と日本留学広報活動支援により更に連携体制を強化した。また、UPMと共催した本事業マレーシア拠点の開所式・開所記念セミナーには、日本留学経験者や現地の本邦機関、マレーシアの国立・私立大学等の多様な関係者100人以上が一堂に会したことで、日本留学の機運が高まった。今年度は、新たに在コタキナバル領事事務所との連携による現地日本語教師とのネットワーク構築、岡山大学国際同窓会の協力によるイベント参加、サラワ

ク州ミリ市でのイベント参加を通じた現地教育関係者との人的ネットワークの拡充が実現した。更に筑波大学マレーシア校との連携により、ミリ市とビントゥル市の優秀な学生が就学し、外国語として日本語が選択可能な複数の全寮制中高一貫校を訪問し、留学セミナーを3校430人に対し実施した。これにより、本事業の活動地域拡大及びネットワーク強化につながったのみならず、大学拠点、在外公館及び中等教育機関を結ぶ新たな連携構築にも貢献した。加えて、北海道大学の参加を得て、オンラインで大学プログラム説明会も実施した。

ミャンマーでは、政治情勢に十分留意しつつ、ミャンマー元日本留学生協会（MAJA）及び日本国大使館と緊密に連携の上、2016年以降継続している日本留学フェアを実施した。同フェアには20機関が出展し、特設ウェブサイトへの登録者数は2,015人、セミナー及び各大学との相談会には1,113人が参加した。また、月例留学相談会を11機関と実施し、延べ626人の参加があった。更に、現地ニーズに的確に対応するため、本邦及び現地の教育機関、JF、ミャンマー日本人材開発センター（MJC）等と連携し、各種セミナーを継続的に実施した。加えて、「留学後の日本就職」を見据え、本学が2015年に設立したミャンマー人材育成支援産学官連携ぷらっとフォームに関わる日系企業とも連携し、活動の強化を図った。

タイでは、既存のネットワークを活用し、現地に事務所を構える京都大学、東海大学、福井大学等7機関の参加を得て、6月にタイ南部トランの高校・大学にて日本留学フェアを主催し、2日間で320人以上の日本留学希望者に対応した。また、9月のJASSO主催日本留学フェアに合わせて主催したバンコクのニュートン第6高校向け日本留学フェアには、大阪大学、叡啓大学など5機関の参加の下、90人に日本留学情報を伝えた。

カンボジアでは、昨年度に引き続き、主にシェムリアップを中心に地方の高校にて日本留学セミナーを実施するなど積極的に活動を展開した結果、新たに20の高校や大学と新規ネットワークを構築した。また、例年に続いて、カンボジア日本人材開発センター（CJCC）主催の日本文化イベントや日本留学フェアでのブース出展に加えて、現地の他機関との連携による各種イベント参加や学校訪問を通じて2,711人に対し日本留学を促進した。

ラオスでは、日本国大使館、ラオス日本センター（LJI）やJFとの連携実施イベントに加え、今年度もラオスへ留学中の日本人学生や短期学生受け入れを支援する帰国留学生の協力を得て、日本人学生派遣と連携したイベントを活発化させた。日本語学習者や日本へ関心を持つ若者向けに、両国の同年代同士の交流促進を兼ね、関心を持たれやすい日本の遊びを取り入れ、日本のポップカルチャー等をテーマとした日本セミナーを拡充するなど、学生交流を兼ねたセミナーを6回実施し、日本人学生の留学と連携して日本留学を促進した。

ベトナムでは、JASSOの仲介によりベトナム教育訓練省国際教育開発センター（CIED）と初の打合せが実現し、今後日本留学に関心を有する高校や大学の紹介等について協力が得られる見通しとなった。また、中南部地域を重点的に活動する計画の下、昨年度対面での日本留学セミナーを共催した在ホーチミン日本国総領事館と、今後は定期的にオンラインでの日本留学セミナーを共催することについて双方合意した。

フィリピンでは、フィリピン元日本留学生連盟（PHILFEJA）及びその構成組織であるフィリピン元私費留学生協会（APPAJU）に加えて、在セブ日本国総領事館の仲介によりフィリピン元国費留学生協会（PHILAJAMES）セブ支部との協力関係を新たに構築した。これら帰国留学生会や在外公館との連携を通じて、現地の2大学にてアカデミックセミナーを実施した他、国費奨学金情報と組み合わせた日本留学セミナーをオンラインおよび対面で計8回開催した。その他フェア等への参加も合わせて、日

本留学希望者計 2,032 人に対して日本留学情報を提供した。

シンガポールでは、シンガポール留日大学卒業協会（JUGAS）及び日本国大使館ジャパンクリエイティブセンターの協力により、優秀な高校生が日本語を学習するシンガポール教育省言語センター（MOELC）へのアプローチが可能となり、同センターの 2 つのキャンパスに日本留学情報コーナーを設置した。

ブルネイでは、ブルネイ元日本留学生会（BAJA）の協力を得て、マクタブサイエンス高校及びアセアン大学ネットワーク（AUN）加盟校であるブルネイ・ダルサラーム大学ならびに日本国大使館において、日本留学情報コーナーを設置した。なお、シンガポールとブルネイにおける資料コーナーの設置場所は、いずれも無償で提供され、両国での積極的な促進活動を希望する本邦 20 機関の資料を配架した。

ASEAN 全体としては、以前より連携関係を築いている京都大学や広島大学、北海道大学等と ASEAN 向けウェビナーを 5 回実施し、425 人の日本留学を後押しした。また、京都大学、北海道大学の協力を得て、各国での広報活動の一環として、日本留学の動機付けに効果的な日本留学プロモーション動画を製作した。

これまで以上に強化したネットワークとしては、昨年に引き続き、ASEAN 各国の帰国留学生会との連携に関して、ラオスとタイで開催された ASJA-ASCOJA シンポジウムと東京での理事会への出席が挙げられる。ASCOJA メンバーである帰国留学生会各国代表と親交を深め、そのネットワーク強化をきっかけに、翌年度以降新たに拠点を設置するための後押しや優秀校訪問への伝手と支援を得た。また、2026 年 1 月には、日本留学広報や学生交流プログラム実施、現地事情にかかる意見交換等を通じ、強固に連携している AUN 事務局長らの本学訪問が初めて実現した。打合せには本学学長を交え、今後の学生交流プログラム及び日本留学促進にかかる課題や具体的な連携について協議した。

【独自の現地機関データベースの基盤整備】

昨年度整理したデータベースを元に、今年度は名古屋工業大学とタイ・キングモンクット工科大学 トンブリー校との協定締結・学生交流支援、芝浦工業大学と秋田大学の連携支援等を実施し、日本留学をオールジャパンで推進するハブ機能を果たしている。今年度のデータベースには、約 650 件が新規追加され、計約 1,500 件のデータが整備された。本データベースは、今後国内と ASEAN の教育機関の連携や、指導教員と留学希望学生とのマッチング等を迅速かつ効果的に進めるために活用している。

3. 本邦関係機関等（大使館、JICA、JF）との特筆すべき活動成果

【最重点国における活動成果】

インドネシアでは、9 月に在メダン日本国総領事館主催の日本留学セミナーに協力し、383 名の参加者へ直接日本留学情報を伝えた。同時に在メダン日本国総領事館主催の帰国留学生会レセプションにも出席し、現地の元留学生らとのネットワークを構築した。また、現地に派遣されている JICA 専門家や、JF の日本語パートナーズとの意見交換を通じ、メダンにおける日本留学可能性についての知見を得た。また、北海道大学や芝浦工業大学等、現地を訪問する本邦機関とセミナー等を 3 件共催・協力し、422 人に日本留学情報を提供した。2 月には、在インドネシア日本国大使館にて、東北大学の新たな英語プログラムの紹介を主とする日本留学説明会を大使館及び JASSO と共催し、86 人に対し日本留学を促進した。JF とは、本事業が実施するセミナーへの会場提供、日本語学習プロモーション、資料提供など、緊密に連携している。

マレーシアでは、日本国大使館・領事館・領事事務所と密に連携し、継続的に情報共有を行った結果、活動地域の拡大へとつながった。今年度も在コタキナバル領事事務所が実施する天皇誕生日レセプション参加を通じ、現地の帰国留学生や日本と関わりの深い関係者と交流を深め、人的ネットワークを拡充した。結果、これまでアプローチできていなかった中等教育機関とのマッチングが可能となり、日本留学促進の新たな活動の場を拡大できた。JF とは、各々の主催イベントにお互いを登壇者として招き、日本文化・日本語教育に加え日本留学に関する包括的な情報発信を 2 件行い、100 人以上に日本留学情報を届けた。JICA マレーシア事務所や科学技術振興機構（JST）マレーシア事務所とも情報共有を行い、今後の連携の仕方について協議を行った。

【その他の国における活動成果】

ミャンマーでは、日本国大使館と帰国留学生会と主催する月例留学相談会において、当地でのリクルートに積極的な大学、高専機構、専門学校、高校等から今年度は新規参加校 3 大学を含む 11 機関がゲストとして登壇し、延べ 626 人に対し具体的なプログラム情報から奨学金や各種試験等まで網羅的な情報提供を行った。JF とは、「日本研究者」「大学院留学生」を増やすために相乗効果を狙った日本セミナーを 2 回実施した。また、日系企業との連携として、ミャンマー人材育成支援産学官連携プラットフォーム参加機関との情報交換と ASEAN 向けに拡大したキャリアセミナー実施の他、ミャンマー日本商工会議所による日本留学のための航空券費用を支援する「未来プログラム」へ参画し、優秀な留学生と企業を繋げる取組も継続した。

タイでは、日本国大使館、JUNThai（在タイ大学連絡会）の協力を得て、第 3 回目となるタイ・ASEAN 向け国費大学推薦奨学金説明会をオンライン開催、本邦 5 大学がそれぞれの魅力的なプログラムを 143 人の参加者へ紹介し、国費大使館推薦以外の日本留学方法を示す機会となった。

カンボジアでは、昨年度に引き続き、JF の助成により地方で開催されている「さくら日本語・日本文化普及キャラバン」へ参画し、日本語学習方法や日本文化の紹介と併せて、日本留学情報の収集方法や、私費留学生向け奨学金について 3 校、367 名に対し情報提供を行った。また、本事業と深い連携関係にある CJCC とは、プノンペン市内での文化フェスティバル及び日本留学フェアに加えて、新たに地方での日本留学フェア開催に向けた協力について協議を進めた。

ラオスでは、首都圏及び地方部において、日本国大使館及び JF と連携し、日本語・日本文化普及活動と連携した日本留学広報を、高校及び大学へ継続して実施した。ラオスにおいては、日本留学といえば、従来は国費奨学金（大使館推薦）が中心であったが、本事業の取組を通じ私費留学を含む多様な留学機会を周知するための広報を展開している。また、JICA 主催日本留学フェア前日に日本式教育を行う高校にてフェア出展機関とセミナーを連携して実施、日本祭りや海外教育フェアにおける日本留学情報の発信、日本国際協力センター（JICE）との共同ブース設置などを通じて、オールジャパン体制で日本留学の広報活動を展開した。

4. 申請重点地域（東南アジア）での活動成果

4-1. 最重点国での活動成果

【インドネシア】

昨年度設置したインドネシアの拠点及び連絡拠点を最大限利用すべく、各拠点での日本留学促進活動を積極的に展開した。

ジャカルタ拠点事務所

ダルマプルサダ大学・インドネシア元日本留学生協会（PERSADA）と同じ建物内に事務所がある強みを活かし、即時・随時の情報交換や活動への密な相互協力等、連携・協力関係を更に強化した。開所1年記念には、ダルマプルサダ大学協力の下、芝浦工業大学及び大崎市立日本語学校の参加を得て日本留学セミナーを実施し、300名を超える大学生及び高校生へ具体的な日本留学情報を提供した。また、SNSでの広報にも力を入れ、情報発信数を増やした結果、Instagramのフォロワー数が年度初めから1.7倍となる4,190人となった。

スラバヤ連絡拠点（スラバヤ工科大学内）

熊本大学所管のスラバヤ事務所（国立六大学共用事務所）とは密に連絡を取り、連携して活動に取り組んでいる。今年度は事務所のあるスラバヤ工科大学の協力を得て、事務所開設1周年記念を兼ねた日本留学セミナーを熊本大学及び芝浦工業大学と共催した。高校生、大学生、一般からも来場者があり、計87名に対し日本留学の具体的な情報を提供する機会となった。セミナー後には、個別相談会も実施し、熱心な学生からの質問に対応し、志望校決定など支援した。なお、2025年度は352件の日本留学相談に対応した。

インドネシア大学連絡拠点（インドネシア大学工学部内）

インドネシア最高学府であるインドネシア大学への連絡拠点開所により、特にインドネシア大学工学部との連携が容易になった。7月には日本留学情報資料コーナーを設置し、同学部の優秀な学生を対象に記念セミナーを実施した。また、本学同窓生が教鞭を執る数学・自然科学部においても、北海道大学の対面・オンライン登壇協力を得て、アカデミックセミナーをハイブリッド形式で実施した。結果、インドネシア大学の優秀な学生54名に対し日本での大学院進学を促した。

今年度、インドネシアの拠点を活用した活動内容は、次の通り。

1. 各大学・教育機関、PERSADA、帰国留学生会との連携の拡大

これまでの訪問や活動を通じて築いたネットワークにより、本事業及び拠点事務所の認知度が向上したことで、教育機関から留学関連イベントへの案内や招待が増えた。今年度は新規のネットワーキングも兼ね、可能な限りイベントに参加し、積極的に日本留学情報の提供に努めた。また、インドネシア国内各地にネットワークを持つPERSADAの紹介により、地方のPERSADAメンバーの協力も得て、新たな教育機関3機関とのネットワークを構築するなど、連携の拡大に繋がった。

2. 本邦機関・一般企業等との連携

今年度は在メダン日本国総領事館主催のイベントへの参加、日本国大使館や日本の各大学と日本留学促進イベントを6件共催した。また、JASSOインドネシア事務所と連携して8件のセミナー共催や3校の高校訪問をすることで、広報面でも広く認知され多数の集客につながった。なお、JFにはイベント実施に資料提供や協力をいただいている。

3. 新たな現地教育機関とのネットワーク構築

今年度は、これまで直接的な連携ができていなかったマラン国立大学やアイルランガ大学を訪問して関係を築き、日本留学セミナー2件の実施につなげた。また、今後より一層の注力が必要な高校への訪問7件や進学フェア参加3件を通じて構築したネットワークを更に広げ、早期からの日本留学を促進した。

【マレーシア】

ASEANの中でも地理的・地政学的に重要なマレーシアにおいて、2024年12月、本事業の拠点事務所をUPM大学内に設置、2025年5月には同大学を共催機関として、開所式・開所記念セミナーを実施した。この開所式を皮切りに本拠点を起点とした本格的な事業展開を開始した。

1. 拠点設置を起点とする連携機関の拡大及び関係強化

マレーシア拠点の設置により、従来の訪問中心の関係から、各機関が主催する行事への参加・協力が可能となり、連携の質的向上とネットワーク拡充が進んだ。具体的には、帰国留学生会が地方主要都市で実施する日本文化関連イベントへの協力や運営支援、マレーシア高等教育省主催イベントへの参加、JF主催事業への協力等を通じて、本事業の認知度向上及び内容普及を図った。また、本学マレーシア卒業生が所属する企業への訪問を通じ、人的ネットワークの広がりも確認された。

- ・連携・協力関係を有する機関・団体数：54機関
- ・新規に構築・深化した連携数：30機関
- ・日本の大学とのオンラインセミナー実施回数：4回

2. 日本留学・研究留学促進に向けた情報提供機会の創出

既存の現地拠点を有する本邦機関と情報を共有し、戦略的な事業計画を策定するとともに、新規参画機関に対して効率的な情報提供を行った。2025年度は、日本留学フェアへの参加（共催・協力含め計4回）に加え、日本の高等教育機関を対象としたマレーシアの教育制度及び留学動向に関するオンラインセミナーを実施した。当該セミナーは、JASSOマレーシア事務所、日本国大使館、帰国留学生会2機関、日本語教育機関1機関の協力の下実施し、日本側関係者に対して現地の教育事情を体系的に共有する機会となった。また、本邦大学の協力を得て、マレーシア向け及びASEAN地域全体を対象としたオンラインセミナーを計4回実施し、昨年度（1回）から大幅に拡充した。

- ・日本留学関連フェア・説明会等の参加・実施回数：8回
- ・日本の高等教育機関向けオンラインセミナー参加者数：221名（登録者数：309名）

3. 地域的広がりを伴う対象層の拡大（高等・中等教育、地方展開）

昨年度までの高等教育機関中心の活動を踏まえ、2025年度は中等教育機関への訪問を本格化するとともに、東マレーシア（サバ州、サラワク州）及びペナン等の地方都市における事業展開を開始した。特に東マレーシアにおいては、在コタキナバル領事事務所のネットワークや現地教育フェアへの参加を契機として、現地在住邦人日本語教員の協力を得ることができ、日本語教育を実施する全寮制中等教育機関や地域の学校において、日本の高等教育機関に関するセミナーを実施した。これらの活動は、筑波大学マレーシア校との連携により、日本の高等教育機関全体を俯瞰的に説明し、将来的な学部・大学院段階での日本留学促進に向けた基盤整備につながった。

- ・訪問・連携した中等教育機関数：30校（昨年度：1校）

4-2. 拠点設置国での活動成果

【ミャンマー】

ミャンマーからの留学生数は、昨年約2倍に増加している。日本語能力試験受験者が世界第2位であり、多数の日本留学志望者がいる状況を踏まえ、よりマッチングに繋がるよう具体的な情報提供を心掛けた。具体的には、大学の各プログラムや奨学金情報提供、出願への助言を国内2拠点で個人相談に対応するとともに、フェア、セミナー実施を通じて日本留学を支援した。本邦高等教育機関と連携し、主に学部・大学院へのリクルートを重点とした日本留学フェアや月例日本留学相談会、また

早期からの日本留学を見据え、高校と大学を一貫して紹介するセミナー等、オンライン主催共催セミナーを計 16 件実施した。また、近年ミャンマー学生の受験者が増えている日本留学試験（EJU）の更なる普及を目的とし、MAJA と EJU オリエンテーションセミナーを 2 回、勉強会を 100 回実施した。毎日、ヤンゴン事務所とマンダレー事務所にて個別留学相談を重点的に行い、今年度受けた問い合わせは 4,247 件、相談者 775 人へ受験指導助言を行い、内 193 人より出願報告、152 人より合格報告があった。また、現地での対面広報活動においては、治安状況を考慮しつつ学校訪問しセミナーやブース出展を 10 件実施した。他機関との連携においては、JF による日本祭り、MJC による JICA 奨学金セミナー、ライセンスアカデミーなどが主催するフェアに協力、国内トップのインターナショナルスクール連合体（MISCA）による海外留学フェアへもブース出展し、優秀な学生獲得に向けた日本留学促進活動を展開した。3 月には大使館、MAJA と帰国留学生会兼国費奨学生壮行会を実施した。

【タイ】

再委託先の金沢大学は、優秀な学生の早期リクルートのため 2025 年 9 月にタイ国内の日本企業（Teijin）訪問ツアーを、2025 年 11 月に KAGAYAKI AWARD（高校生による研究発表コンテスト）を実施し、学部留学後の日本での就職を見据えた日本留学を 75 人に対し意識づけた。また、昨年度に引き続き、現地スタッフは独立して地方部での日本留学フェアを 2 件企画、本邦参加機関募集、現地高校・大学との交渉を経てフェアを実施して成功に導き、324 人の参加者へ日本留学の魅力を伝えた。更に、タイに特化した情報発信を目的として、タイ向け Facebook の公式アカウントを新たに開設した。

【カンボジア】

カンボジアでは、CJCC との日本留学フェアの共催や、日本文化祭りやジョブフェア、現地大学主催による教育フェアへのブース出展など、過年度までの各機関との連携活動を継続しつつ、新たなネットワーク構築に努めた。特に、現地のインターナショナルスクールの増加に伴う海外留学への関心の高まりを受け、欧米諸国や近隣のアジア諸国の活発なリクルート活動に対抗すべく、インターナショナルスクール向け日本留学セミナーを積極的に実施し、12 校の 631 人に対し日本留学情報の拡散と普及を図った。また、経済レベル及びカンボジアの高校卒業兼大学入学試験の平均点などから留学実現可能性の高い学生が多いと考えられる一方で、日本留学情報があまり行き渡っていないシェムリアップなど地方における活動も引き続き強化した。地方での活動は、私立のインターナショナルスクール 7 校を重点的に訪問し日本留学セミナーを開催、288 人に日本留学情報を届けた。その結果、これまで海外留学情報が欧米諸国に偏っていたことから、学生の選択肢を増やすべく、学校側から今後も継続した日本留学情報提供の要望があった。日本国大使館とは、国費奨学金（大使館推薦）募集選考期間前後での日本留学セミナーの共催について協議し、選考過程で残念ながら採用されなかった学生に国費留学以外の方法を示すことで、優秀な学生の獲得を目指すこととなった。

【ラオス】

ラオスでは、現地社会状況を背景に、海外に教育機会を求める層が増加しており、近年は行政官の大学院留学のみならず、私費による学部進学も徐々に増加している。こうした状況を踏まえ、継続して現地教育機関や現地本邦機関と連携し、私費留学促進を目的に各種主催共催イベント 23 件を積極的に実施した。昨今中国留学の勢いが止まらない中、「日本留学」のプレゼンスを上げること及び国費奨学金以外でも私費留学で様々な枠組みがあることを周知するため、LJI と日本留学フェアを共催、

日本国大使館や JF と連携し高校や大学で 1,568 人の日本留学モチベーションを高めた。また、ラオスへ留学中の日本人学生や現地でインターンシップ中の日本人大学生の協力も得て、SNS での動画コンテンツ作りや現地で学習塾を展開する日系企業との学生交流イベントを企画実施し、日本留学広報を盛り上げた。

【シンガポール】

シンガポールでは、日本留学資料コーナーを MOELC の 2 キャンパスに設置したことを契機として、昨今の国際情勢の不安定化を踏まえ、高校生へ欧米以外の留学先として日本留学を訴求する取組を展開した。MOELC では、今後、シンガポール政府奨学金制度を活用した日本留学の実施が予定されており、本事業において本邦関係機関の情報提供等を通じた協力を行っている。また、従来当地で日本留学促進活動に尽力してきた JUGAS 及び日本国大使館ジャパンクリエイティブセンター (JCC) とのネットワークを活用し、JASSO の支援の下、現地高校で開催される海外留学フェアへの日本留学資料の配置や、JCC 主催日本留学フェアへの協力を行った。更に、JCC 及び JASSO との連携により、国内トップ進学校である Hwa Chong 高校において日本留学セミナーを実施し、日本留学を訴求した。

【ブルネイ】

ブルネイでは、BAJA 及び日本国大使館の助言・協力を得て、3 か所への資料コーナー設置に加え、優秀層が通う高校への広報活動を開始した。トップレベルのインターナショナルスクール 2 校においては、単独セッションの実施及び進学フェアへの出展を通じ、欧米以外の選択肢として日本留学を認知・浸透させることを目的に、その魅力を訴求した。また、資料コーナーを設置したマクタブサイエンス高校では、記念セミナーを筑波大学と共同で実施した。同高校は世界大学ランキング 250 位以内の大学への進学者を対象とするブルネイ政府奨学生を多数輩出しているが、従来ほとんど選択肢とされてこなかった日本についても、情報提供を開始した。また、本学と交換留学展開を活発化させているブルネイ・ダルサラーム大学においても、日本語学科教員の協力を得て日本留学情報コーナーを設置した。同大学では、カリキュラムとして参加が必須の短期留学制度が導入されており、現在、留学先とし最も人気の高い韓国以外にも、日本を新たな選択肢とする学生の拡大を図る取組を開始した。更に、毎年出展している教育省高等教育 EXPO は 2 万人規模の来場者があり、今年度は筑波大学とも連携しオールジャパン体制での広報を展開した。

4-3. 拠点未設置国での活動成果

【ベトナム】

ベトナムでは、JASSO ベトナム事務所主催の日本留学フェアに計 3 回出展し、情報提供及び個別相談を合計 140 人に実施した。ハノイ国家大学外国語大学附属英才高校での日本留学フェアや、中部ダナン市でのミニ留学フェアへの出展は、手続きの煩雑さや制限が多いことから機会が限られている高校生へのアプローチ並びに大都市以外の地域での日本留学促進活動も積極的に実施した。また、ベトナム最大級の日越イベントである Japan Vietnam Festival では 2 日間で約 410 人に情報提供ができた。上記活動に加え、現地の大学・高校並びに本邦関係機関等、計 21 機関を訪問し、日本留学促進に向けた意見交換及び情報収集を行った他、北部ハノイに事務所を構える JASSO とのすみ分けに基づき、本事業が中南部地域での活動をより一層強化する観点から、同地域への拠点設置に向けた情報収集も併せて行った。更に、2025 年 10 月には情報発信の強化を目的として、ベトナム向け Facebook 及び

Instagram の公式アカウントを新たに開設し、大学、奨学金及びイベント紹介等に関する投稿を全てベトナム語により発信している。

【フィリピン】

フィリピンでは、これまでのネットワーク構築活動や関係機関訪問を通じて協力関係を築いた PHILFEJA 構成組織である APPAJU との連携により、今年度は日本から大学教員を招聘し、マニラ市内にある Far Eastern University 並びに Mapua University にて、計 390 人に向けアカデミックセミナーを開催した。また、昨年度から連携活動について調整を進めていた日本国大使館との共催により、マニラ市内の高校にて日本留学セミナー 1 件を実施した他、在セブ日本国総領事館並びに PHILAJAMES セブ支部との連携により、国費留学説明会と併せて本事業の日本留学セミナー 8 件の実施をオンライン並びに対面で実現し、計 840 人へ日本留学情報を伝えた。島しょ国であるフィリピンにおいて、主要都市であるマニラと第二の都市であるセブ間でさえも情報格差が大きいと、特に優秀な学生が集まるマニラ市内での活動を継続しつつ、セブ市並びに周辺地域においても、優秀な学生の獲得に向け、日本留学情報の拡散並びに普及強化に向け、継続して広報活動を進める。

5. 留学フェア実施・参加実績

・ミャンマーオンライン日本留学フェア主催

今年度もオンライン日本留学フェアを主催し、20 大学が参加した。本フェアでは、2,015 人の参加登録者に特設ウェブサイトでの出展機関詳細情報や将来のキャリア情報を提供したほか、奨学金紹介セミナー、出展機関紹介セミナーや個別相談会を通じて、日本留学・留学後の就職情報を提供した。
(別添 4 参照)

・JASSO 主催日本留学フェア共催・協力

再委託先の JASSO が主催する日本留学フェアを、インドネシア・マレーシアで共催、タイ・ベトナムで協力し、各国向けに SNS で広報、帰国留学生会への協力要請、現地関係機関・教育機関訪問等を通じて周知し参加を呼び掛けた。その結果、インドネシア、ベトナムではそれぞれ前年度比 1.2 倍、1.3 倍となる来場者数となった。マレーシア、タイでは昨年度より来場者数が減少したものの、優秀かつ真剣に日本留学を考えている学生のブース訪問が目立った。なお、今年度の 4 か国 6 都市でのフェア来場者数合計は 10,524 人だった。

・帰国留学生会主催フェア協力

インドネシアでは、帰国留学生会が 7 月に主催した 2025 日本留学・就職フェア in Indonesia へ国立六大学連携コンソーシアムとして協力、ブース出展した。現地の日本留学機運の高まりにより、会場には連日多くの来場者が訪れ、昨年を大幅に上回る来場者（昨年比 1.5 倍 1,795 人）を記録した。本フェアには 10 大学、7 企業が出展し、就職までを明確にイメージした日本留学を意識づけた。

マレーシアでは ALEPS 主催のオンラインフェア、JAGAM がクアラルンプールとペナンで主催する留学フェア、並びに JAGAM が共催するジョホールバルとペナンでの日本留学フェアに協力した。3,423 人が参加したオンラインフェアでは、マレーシア政府の各種奨学金制度を活用した留学方法が紹介された。本事業からは、本学現役学生によるイスラム教徒にとっての日本での生活面に関する情報提供に協力した。また、対面フェアでは、本事業のネットワークを活用して参加機関を増やした結果、本邦から 13 校が出展し、来場者は併せて 1,000 人規模に達する盛況なイベントとなった。

・JICA 日本人材開発センター主催日本留学フェア共催

ラオス、カンボジアでは、JICA 日本人材開発センター（JICA 日本センター）と日本留学フェアを共催、計 1,446 人の来場者があった。本事業は、出展校を増やすためこれまで蓄積してきた本事業のネットワークへ展開、現地での広報支援として広報動画作成、イベント周知のための省庁・学校訪問とセミナー実施、有効な SNS 広報宣伝等を実施した。

・タイ・地方留学説明会参加

在タイ日本国大使館が帰国留学生会と 1-2 月に主催したウボンラチャタニ、ピサヌローク、コンケンでの地方留学説明会に参加した。事業としても直接的なリーチが難しく、日本人との接点もほとんどない地方部での 5 高校、3 大学の日本留学希望者 301 人へ、各種奨学金や英語プログラムなど、最新の日本留学情報を提供した。また、ブースでは SNS のフォローを呼び掛け、新規フォロワーを獲得するとともに、今後のフォローアップ及び情報提供を可能とする体制を整えた。

・JASSO ベトナム事務所主催日本留学フェア及び日本留学説明会参加

今年度より新しい取組として、JASSO ベトナム事務所は在外公館と連携し、ハノイ国家大学外国語大学附属英才高校での日本留学フェア、並びに中部地方のダナン市での日本留学説明会を 1 件ずつ開催し、本事業もブースを出展した。これらの機会を通じて、通常は訪問でさえ難しい公立高校において、優秀な高校生 26 人を対象に日本留学情報を提供できた他、これまで活動が展開できていなかった中部地方において今後の活動推進のための足掛かりを作ることができた。

6. 本邦教育機関への日本留学事情共有

2 つの前身事業を含むこれまでの経験と知見、人的ネットワークを生かし、国内教育機関向けに日本留学事情説明会（インドネシア、マレーシア、ミャンマー、カンボジア、ラオス）を実施した。本事業コーディネーターのみならず、帰国留学生会や日本国大使館、JICA 日本センター、現地高校からも登壇協力を得て、本邦機関の現地リクルートを円滑にし、更なる学生獲得の一助となるような構成とした。今年度 9 月から 1 月にかけて、5 か国 4 回の説明会を通じ、延べ 513 機関、1,092 人の参加者があり、非常に大きな反響があった。説明会后、複数機関からセミナー実施協力、現地活動展開、協定締結にかかる相談があり、本事業がハブの役割を担うことの意義と重要性が再認識された。

7. SNS での広報展開成果

・現役留学生と現地日本留学経験を持つ若い世代による魅力的な記事・動画の作成

留学コーディネーター指導の下、岡山大学に留学中の現役学部生 4 名と各拠点の日本留学経験がある若手スタッフが、日本の大学、入試、奨学金、学生生活、日本文化、就職支援等について学生目線で情報収集、ほぼ毎日記事を投稿し、日本・日本留学の魅力を計 4,043 件発信した。大学の選定には、現地でニーズの高い英語プログラムを持つ国公立大学のプログラム紹介を中心とすることで、英語での日本留学も可能であることを周知し、日本留学の裾野を拡げている。これまでの分析より、若者世代は記事より動画を好む傾向があることから、日本留学体験談や日本社会の良さを強調した動画を毎月平均 1 本以上作成し、各種 SNS へ投稿した。なお、今年度はより現地のニーズに添った広報展開とするため、ベトナム語、タイ語の SNS を新規開設した。

8. 次年度以降に向けた課題と対策

ASEAN 各国で活動を進める中で、共通して直面する一番の課題は、日本留学のプレゼンスの低さ及

び相対的な低下である。ASEAN 諸国は近年経済発展著しく、高等教育進学率の伸長に伴い、旺盛に海外留学機会を狙う層が増えてきている。これに対し、中国や韓国などでは、日本同様に留学生受入の政策目標を定めて必要な措置や重点投資を行っており、日本の留学生受入政策の脅威となっている。諸外国との留学生獲得競争に打ち勝ち、安定的に優秀な留学生のリクルーティングを継続するためには、より一層の人的・財政的な投資が必要である。

こうした状況下、本事業では限られた資源の下、可能な限りの活動と資金の効率化を進め、日本留学希望者に寄り添った相談対応や日本留学促進活動を、各国で柔軟に展開している。具体的には、漠然と「難しい」と考えられている日本留学イメージの改善・払拭に努めるとともに、実用的で分かりやすい日本留学ステップ、国費大使館推薦以外の奨学金等の活用方法、欧米加豪と比較した学費・生活費等の優位性、質の高い教育・教育環境の周知に重点的に取り組んでいる（フェア等主催 139 回、参加 73 回、来場者 33,861 人）。これにより、保護者の理解も深め、日本留学の実現性を高めている（マッチング数 970 件）。同時に、日本でも英語で学位が取得できるプログラムが増加していることから、渡日前の日本語習得が必須条件ではないこと、卒業後に高度人材として就職できる可能性があること等を更に周知することで、言語習得が障壁と考えている学生やキャリア志向の高い学生へアプローチし、潜在的なニーズを掘り起こし日本留学へと繋げている。また、新規ネットワークの開拓及び拡大はもとより、海外留学・大学進学フェア等のイベントでの積極的な露出に加え、地道な学校訪問や SNS での日本留学プロモーションが不可欠と考え、各機会を駆使、あるいは創出し活動を展開している（関係機関訪問 146 件、SNS 投稿 4,043 回、リーチ約 618 万）。なお、ベトナムとフィリピンの拠点については、日本留学希望者にとっての利便性や期待される成果、競合他国の動向などを多角的に検証しており、来年度中の設置を見込んでいる。

日本留学の障壁について、他国への留学を決めた学生や現地関係機関等へ改めて聞き取りをしたところ、昨年同様、煩雑で長い選考プロセス、申請書類の原本提出の必要性、短すぎる応募受付期間、分かりにくいウェブサイトに加え、指導教員とのマッチングの難しさが挙げられた。これを受け、現地事情説明会や本邦機関へのコンサルテーション等の機会を捉え、本邦機関延べ 500 機関以上には、上記に留意するのみに留まらず、英語プログラムの拡充、渡日前入試・奨学金機会の拡大、留学生への適切かつ合理的な配慮・支援の充実、協定校のみに限定しない柔軟な短期留学受入コースの増設・受入人数増加等を進めるよう推奨してきた。

上記課題を踏まえ、本事業では今後も現地教育事情やニーズ把握に努め、協定締結や受入校とのマッチング等を通じた本邦機関支援、各種フェア・セミナー実施、留学相談、SNS を利用した現地学生・教育機関への情報発信により、日 ASEAN 双方向へのフィードバックサイクル（LOOP モデル）を繰り返すことで、更に強固な LOOP をオールジャパンで展開できるよう、引き続き各種活動を継続していく。

なお、コロナ禍以降、東南アジアにおいては継続的な物価上昇に加え、2025 年度末に勃発したイラン戦争は、エネルギー供給に深刻な影を落とし、ガソリンをはじめとする石油製品の供給不足は、更なる物価高騰を招く懸念を強めている。加えて、航空便の減便や航空運賃の高騰のみならず、歴史的な円安の進行が重なり、財務運営は極めて厳しい状況に直面している。ASEAN 地域は日本との留学交流において長年の知見と実績を有する最重要拠点であり、帰国留学生との対面でのネットワーク構築や広報活動を通じた事業展開が不可欠である。今後も本事業を着実に推進し、確かな成果を創出するためにも、財政面における特段のご高配を賜りたい。

金沢大学

日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業における活動報告について

○日系企業見学ツアー

日時：2025 年 9 月 15 日（月）

会場：Teijin Polyester (Thailand) Limited

応募者数：308 名(当日参加 15 名)

概要：

日本留学後の進路として日本企業への就職を具体的にイメージさせることを目的に、日系企業の見学ツアーを実施した。本企画は昨年度に初めて実施し、「日本企業への理解が深まった」「次年度も参加したい」といった高い評価を得たことから、今年度はTeijin Polyester (Thailand) Limited 社に協力いただき、開催した。高校への周知活動や SNS を活用した情報発信を強化することにより、昨年度の応募総数 35 名を大幅に上回る 308 名の応募があり、タイ人学生の日本企業および日本での就職に対する関心の高さが改めて確認された。

当日は参加者が真剣に企業の説明に耳を傾け、質疑応答ではTeijin Polyester (Thailand) Limited 社に入社するための要件、職場環境、企業の今後の成長見込みなど、就職を具体的に見据えた質問が飛び交った。質疑応答時間終了後もバスの発車時刻まで個別に質問を行う学生が多数見られ、企業で働くスタッフと直に接することで、日系企業への関心が一層高まった様子がうかがえた。

バス到着までの待ち時間には日本の大学の資料配布を行い、移動の車内では、留学生による日本の生活紹介動画を上映した。また、日本企業や日本留学に興味がある学生同士が本イベントを通じて友達になり、意見交換をし合う姿も見られた。企業見学と併せて、日本人スタッフや学生同士の交流を通じ、就職を見据えた日本留学を意識づける機会を提供することができた。

○日タイ高校生研究発表コンテスト（KAGAYAKI AWARD 2025）

日時：2025 年 11 月 29 日（土）

会場：Knowledge Exchange for Innovation Center (KX)

110/1 Krung Thonburi Road, Banglamphulung, Khlongsan, Bangkok 10600, THAILAND

応募者数：154 チーム(383 名) (Finalists：6 チーム（当日参加：5 チーム）、Poster Presentation：21 チーム（当日参加：9 チーム）)

概要：

将来的に日本での大学進学・就職が期待される優秀な理系人材の発掘および育成を目的として、理系分野を専攻するタイ人高校生対象の研究発表コンテスト（KAGAYAKI AWARD 2025）を開催した。今年度は昨年度の参加チーム数 77 チームを大きく上回る過去最多の 154 チームの応募があり、本イベントの認知度の高まり及び日本の高等教育機関や研究活動に対する関心の高まりがうかがえた。

国立六大学所属の教員 6 名が一次審査員を担当し、応募チームの中から最終審査に進出する KAGAYAKI AWARD 2025 ファイナリスト（6 チーム）とポスタープレゼンテーション出場チーム(21 チーム)を書類で選考した。最終審査は対面で開催され、各チームが研究発表及び質疑応答に対応した。6 大学（日本：3 大学、タイ：3 大学）の教員が審査員として、1 位から 3 位までを決定し、ポスタープレゼンテーションにおいては、参加者全員の投票によりベストポスター賞を決定した。

高校生達の研究発表内容は非常にレベルが高く、参加者や関係者が驚くほどであった。休憩時間には、審査員の教員たちが積極的に高校生に声掛けを行い、参加した高校生からは「研究に対する新た

な視野が広がった」「日本留学へのモチベーションが上がった」とのコメントが寄せられた。

さらに、同日に本事業の概要説明や、JASSO による日本留学セミナーを実施し、日本の大学紹介冊子や留学関連資料の配布を行った。参加した高校生たちは熱心に日本留学の情報を収集しており、本コンテストを通じて優秀なタイ人高校生の日本への大学進学のモチベーションを高めることができた。

熊本大学 インドネシアにおける活動報告について

セミナー等の実績一覧

	開催日	開催 / 参加	活動	参加 人数	開催、参加大学等
1	9/16	主催	日本留学セミナー	60	Universitas Nusa Cendana
2	9/18	主催	日本留学セミナー	140	Universitas Cenderawasih
3	9/23	主催	日本留学セミナー	90	Universitas Sam Ratulangi
4	9/25	主催	日本留学セミナー	70	UIN Alauddin Makassar
5	9/26	主催	日本留学セミナー	60	Universitas Hasanuddin
6	9/29	主催	日本留学セミナー	20	Universitas Sultan Ageng Tirtayasa
7	10/1	主催	日本留学セミナー	190	Universitas Pattimura
8	11/17	主催	日本留学セミナー	160	Universitas Islam Negeri Sunan Ampel
9	11/17	主催	日本留学セミナー	155	Universitas Muhammadiyah Sidoarjo
10	11/18	主催	日本留学セミナー	160	Universitas Negeri Surabaya
11	11/20	主催	日本留学フェア	280	ブラウイジャヤ大学
12	11/21	主催	日本留学セミナー	60	Study in Japan ITS Office、芝浦工業大学
13	11/22	共催	日本留学フェア	1,173	JASSO（スラバヤ）
14	11/23	共催	日本留学フェア	5,355	JASSO（ジャカルタ）
15	11/25	主催	日本留学セミナー	25	Institut Teknologi Bandung
16	11/26	主催	日本留学セミナー	75	Universitas TELKOM
17	11/28	主催	日本留学セミナー	39	Universitas Airlangga
18	12/2	主催	日本留学セミナー	70	Universitas Islam Indonesia
19	12/3	主催	日本留学セミナー	74	Universitas Gadjah Mada
20	12/8-10	参加	留学フェア	120	Universitas Indonesia
21	12/12	主催	日本留学フェア	60	Universitas Negeri Malang
22	12/12	主催	日本留学フェア	70	Politeknik Negeri Malang

特筆すべき活動と、参加者アンケート分析の結果は次のとおり。

○ブラウイジャヤ大学での国立六大学留学フェアの実施

ブラウイジャヤ大学において国立六大学留学フェアを開催し、同大学及び近隣の大学・高校から約280名が来場した。本フェアでは、現地に拠点を置く熊本大学及び岡山大学の紹介、並びに日本の留学制度等に関する説明を行った。その後、各大学ブースにて個別相談を実施した。資料参加した金沢大学、新潟大学、千葉大学、長崎大学の4大学については、ブラウイジャヤ大学の学生ボランティアが資料配布等のサポートを担当した。会場は終始活気に満ち、学生の日本留学に対する高い関心がうかがえた。

○JASSO 留学フェア（スラバヤ・ジャカルタ）への共催

本事業で共催した JASSO 留学フェアは、11 月 22 日（スラバヤ）および 23 日（ジャカルタ）の 2 日間にわたり開催され、両会場合計で 6,528 名が来場した。来訪者の中には英語でのコミュニケーションが難しい学生や保護者も多く見られたため、本事業の現地事務所スタッフより現地語で説明するなど、丁寧な情報提供に努めた。昨年度、奨学金や生活費についての関心が高かった点を踏まえ、各種奨学金や生活費をインドネシア通貨に換算し、インドネシア語でまとめた資料を準備したところ、来場者から好評を得た。高校生に対しては、英語プログラムを有する大学の紹介や、日本の学部入学に必要な語学能力・試験制度について説明を行ったほか、語学に不安がある場合には「国内大学への進学後、協定校への交換留学を経て日本の大学院へ進学する」という選択肢も提示した。

○セミナー・フェア参加者アンケート結果の分析

留学フェア参加者からの終了後のアンケート結果において、どのイベントにおいてもイベントの満足度として「満足している」「とても満足している」が 90%に達し、満足度が高いことが分かった。フェア情報の入手方法については学生の多くが大学のウェブサイトや SNS から情報を得ている。また、特筆すべき点として、留学後に、「さらに日本での進学」「日本で働く」ことを希望している学生も多く、地域によって 42%～60%台で推移している。日本での進学、就職を希望している学生が多いのはスラバヤなどの大都市であり、今後も継続的に大都市において日本留学に関する情報提供を行うことを中心として、マランやジョグジャカルタ等の地方都市でも引き続き情報提供を行うことが有益であると考えられる。

日本学生支援機構

日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業における活動報告について

1. 昨年度、新規雇用した本事業担当職員 1 名を、引き続き 4 月 1 日から継続雇用した。

2. 申請重点地域（東南アジア）での活動成果

2-1 最重点国拠点との連携

○インドネシア拠点

・日本留学フェア（インドネシア）実施

開催日：2025 年 11 月 22 日（スラバヤ）、23 日（ジャカルタ）

来場者数：計 6,258 名（過去最多）

本留学フェアの開催に先立ち、広報戦略の一環として日本留学促進事業のジャカルタ事務所と、本機構インドネシア事務所が共同で日本留学セミナーを開催した。当該セミナーでは、日本留学に関心のあるインドネシア人学生を対象に、定期的な情報発信を行うとともに、11 月に開催の本機構主催留学フェアへの効果的な広報機会としても活用した。その結果、過去最多の来場者数を記録する成果につながった。

・合計 6 回のイベントで両拠点が連携し、幅広い層への日本留学情報の発信が可能となった。

① 日本留学情報・EJU ってなんだ！？（2025 年 6 月 28 日実施）

② "Siap Kuliah di Jepang?"- Seminar Konsultasi Tatap Muka untuk Studi di Jepang（2025 年 7 月 8 日）

③ 日本留学のためのセミナー2025 年 7 月相談会（2025 年 7 月 21 日実施）

④ BINTANG: Bincang-bincang Tentang Jepang（2025 年 12 月 14 日実施）

⑤ インドネシア日本留学事情オンライン説明会（2026 年 1 月 30 日実施）

⑥ Study in Japan/日本留学情報説明会 with 東北大学（2026 年 2 月 9 日実施）

○マレーシア拠点

・日本留学フェア（マレーシア）実施

開催日：2026 年 1 月 24 日、25 日

開催都市：クアラルンプール

来場者数：計 1,015 名

・マレーシア日本留学事情オンライン説明会（2025 年 12 月 19 日実施）登壇

・マラヤ大学言語学部日本語学科訪問（2025 年 1 月 23 日）

2-2 拠点設置国での活動成果

○タイ拠点

① 日本留学フェア（タイ）実施

開催日：2025 年 9 月 6 日（チェンマイ）、9 月 7 日（バンコク）

② 日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業（東南アジア）主催「Study in Japan Fair」（2025 年 06 月 26 日～27 日実施）参加

○ベトナム拠点

① 日本留学フェア（ベトナム）実施

・開催日：2025 年 10 月 4 日、10 月 5 日（ハノイ）

② 本機構ベトナム事務所主催の日本留学に関する以下のイベントにおいて、日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業（東南アジア）と、広報・集客、私費留学の方法説明、留学経験者による助言等において連携、協力した。

・「高校生のための日本留学説明会 2025（ハノイ）」（2025 年 5 月 14 日実施）

・「日本留学説明会 2025（ダナン）」（2025 年 9 月 6 日実施）

・「EJU セミナー」（2026 年 3 月 15 日）

○その他

① カンボジア日本留学フェアへのオンライン参加（2025 年 10 月 17 日～18 日）

② ラオス日本留学フェアへの資料提供（2025 年 10 月 14 日）

③ ブルネイにおける資料コーナー設置にあたり、本機構の広報資料を提供

④ シンガポールにおける資料コーナー設置にあたり、本機構の広報資料を提供

⑤ シンガポールにおける主要関係機関への訪問および情報提供セッションの実施

2026 年 1 月 28 日～30 日、日本留学促進事業のシンガポール担当コーディネーターとともに、南洋理工大学、シンガポール国立大学、シンガポール教育省語学センター、在シンガポール日本国大使館ジャパン・クリエイティブ・センター等の関係機関への訪問、及び Hwa Chong 高校において日本留学情報提供セッションを実施。

（総括）

本事業の 2 年目にあたる今年度は、岡山大学が最重点国のインドネシアとマレーシアに昨年度設置した事務所の活動が軌道に乗り、本機構の同 2 か国事務所、留学情報課との連携強化を一層強化することができた。また、タイおよびベトナムにおいても、日本留学フェア等の各種現地イベントの実施にあたり、関係機関間で円滑かつ綿密な連携体制を構築し、効果的な広報活動を展開することができた。来年度は、本機構の現地事務所が設置されていない国における広報活動の強化を図る予定である。特にシンガポールについては、本機構との関係がやや希薄となっていた日本留学同窓会 JUGAS と連携の可能性を探り、協働体制の構築に努めていきたい。

以上

【報告】日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業（東南アジア）マレーシア事務所
開所式および記念セミナーの実施

【開所式】

本学は 2025 年 5 月 16 日、日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業の一環として、マレーシアプトラ大学（UPM）内に設置したマレーシア事務所「岡山大学日本留学情報センター（OJEIC）」の開所式を行った。来賓祝辞では在マレーシア日本国大使館の四方大使より、日本とマレーシア両国のさらなる友好と連携の深化に対する期待が述べられ、UPM の Ahmad 学長より、教育・研究分野における連携強化への期待が寄せられた。本学那須学長からは、関係者への感謝の意が表明された。加えて、本事務所の設置に尽力し、本学と 30 年以上にわたり親交のある UPM の Foo Hooi Ling 教授からは、両大学の研究交流の歴史について講演が行われた。

開催日：2025 年 5 月 16 日（金）

開催場所：マレーシアプトラ大学（UPM）

マレーシア側招待者：

- 在マレーシア日本国大使館 特命全権大使 四方敬之
- マレーシアプトラ大学 学長 Ahmad Farhan Mohd Sadullah
- その他、約 100 名の教育機関関係者

国立六大学参加者：

- 千葉大学 国際学術研究院 教授/国際教育センター長 吉野文
- 千葉大学 留学生課副課長 金野宏明
- 新潟大学 グローバル推進機構 准教授 秋山公平
- 金沢大学 国際日本研究教育センター長・学長補佐（国際推進・国際渉外担当）山本洋
- 熊本大学 グローバル教育担当学長特別補佐 シムズ・ランダー
- 岡山大学 学長 那須 保友
- 岡山大学 副学長 鈴木 孝義
- 岡山大学 農学部学部長 一瀬 勇規
- 岡山大学 国際企画課長 田村 恵

【記念セミナー】

開所式に先立ち、開所記念として国立六大学合同の日本留学セミナーを開催し、日本留学に関心を寄せるマレーシアプトラ大学の学生約 90 名が参加。セミナー終了後には、登壇者がブースに分かれて参加学生からの質問に直接応じる機会を設け、多くの関心と反響が寄せられた。

プログラム：

1. 国立六大学の紹介（式典出席の各大学の代表者）
2. 日本留学経験談（岡山大学および UPM 卒業生 Dr. Siang Hee Tan）
3. 日本留学情報の提供（杉山幸子コーディネーター）
4. さくらサイエンスプログラムおよび日 ASEAN 科学技術・イノベーション協働連携事業の紹介
（国立研究開発法人科学技術復興機構 藤井浩人）
5. 国際交流基金の活動および助成金制度の紹介
（国際交流基金クアラルンプール事務所 古林莉奈、Farah binti Ammar）
6. 質疑応答

【当日の様子】



開所式の様子

左から、Ahmad 学長、那須学長、四方大使



開所式 全体の集合写真



記念セミナーの様子



セミナー後のブース対応の様子

【報告】シンガポールにおける日本留学資料コーナー設置

1. 趣旨および所感

シンガポールにおける日本留学促進の取組として、「日本留学資料コーナー」の設置を計画し、事前調査・協議のうえ実現したものである。今年度5月に、日本留学促進活動を継続して行っているシンガポール留日大学卒業生協会（JUGAS）、在シンガポール日本大使館ジャパンクリエイティブセンター（JCC）、シンガポール国立大学日本研究学科等へ訪問し、現地の教育事情について聞き取りを行い、設置場所の相談を行った。その結果、JUGAS より、シェン・ユエ会長の母校であるシンガポール教育省言語カレッジへ（MOELC）の設置を提案および紹介をいただき、同校日本語学科の支援を得て、ニュートンキャンパスおよびビシャンキャンパスの2か所での設置が決定した。以降、当校と調節を重ね、2025年10月24日の資料コーナーの設置に至った。

シンガポールは、世界的に高い教育水準を有し、優秀層が欧米へ留学する傾向がある一方、国民の5人に1人は日本へ旅行したことがあるという程、日本へ親近感を持っている。こうした日本好意層の若者を中心に、日本留学を促進していく。

また、MOELC は日本留学も促進しており、当事業資料コーナー設置についても無償で協力いただいた。シンガポール政府教育省では第三言語教育強化の一環として、日本留学向けの奨学金制度を検討しており、日本語教員養成が可能な日本の国立大学リストの提出依頼があったため、対応した。今後は、資料の補充に加え、情報交換や現地イベントの実施など、継続的な連携強化を図りたい。

2. 協力者一覧

JUGAS：シェン・ユエ会長、ダニエル・タン先生（日本留学広報担当）

MOELC（ニュートンキャンパス、ビシャンキャンパス）：

Yeong Kwong Leong Samuel 日本語学科長

Berlina Tan Kim 校長（ニュートン・キャンパス）

Kevin Ho 校長（ビシャンキャンパス）

3. シンガポール教育省言語カレッジ（MOELC）について

- ・シンガポール政府は国家戦略として、国際ビジネス連携における人材育成のため、エリート向け第三言語教育を導入している。
- ・初等教育修了時の全国試験で上位10%の学生が対象となり、中等教育と並行してMOELCで語学教育を受ける。
- ・とりわけ、日本語は最も人気の高い言語であり、例年、中学1年生段階：300-400名が日本語を選択→中学4年生段階：100名台→高校2年生卒業時：30名程度 となっている。
- ・今回、日本留学資料コーナーを以下2キャンパス図書館内に設置し、教員や司書の資料補充（郵送または持参）等の協力が得られることとなった。

①Newton Campus: French, German, Japanese and Spanish

②Bishan Campus: Foreign Languages (FL) (French, German, Japanese and Spanish)

Asian Languages (AsL)(Arabic and Bahasa Indonesia)

Special Programs (Malay Special Program and Chinese Special Program)

- ・校内食堂では、デジタルサイネージにてフライヤーを表示することが可能であり、今後デザインデータを提供予定。

【設置の様子】



ニュートンキャンパスにて：
サムエル学科長と司書の方



ビシャンキャンパスにて：
サムエル学科長と司書の方



ニュートンキャンパス資料コーナーの様子



ビシャンキャンパス資料コーナーの様子

【報告】ブルネイにおける日本留学資料コーナー設置

① （協力）在ブルネイ日本国大使館 日本留学資料コーナーへ資料提供

設置日： 2025 年 11 月 18 日（火）

設置場所： 在ブルネイ日本国大使館

在ブルネイ日本国大使館にはこれまで日本留学に関する情報を配置していなかったため、この度当事業が協力して日本留学情報冊子や各大学パンフレット等を資料提供した。今後、幅広い層を対象とし日本留学広報を試みる。

【新規資料コーナーの様子】

	
領事窓口横に設置した資料コーナーと 日本留学案内スタンド（ピンク色）	パンフレットコーナー

② MAKTAB サイエンス高校 日本留学資料コーナー設置

設置日： 2026 年 2 月 3 日（火）

設置場所： MAKTAB サイエンス高校（Maktab Sains Paduka Seri Begawan Sultan）

優秀な高校生をターゲットにした資料コーナーを、ブルネイ元日本留学生協会（BAJA）と在ブルネイ日本大使館の助言により当校へ設置した。今回の設置にあたっては、無料での設置が高校側より快諾された。配架した資料については、英語で学位の取得が可能な学部コースを有する大学を中心に協力を依頼し、最終的に 19 大学と JASSO より資料提供を受けた。提供いただいた資料は、各大学より在ブルネイ日本国大使館宛てに直接送付いただき、大使館を通して取りまとめを行った。

【協力大学一覧】

秋田大学、大阪大学、香川大学、京都大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京外国語大学、兵庫県立大学、横浜国立大学、叡啓大学、慶応義塾大学、早稲田大学、上智大学、京都先端科学大学、立命館アジア太平洋大学、武蔵野大学、芝浦工業大学、岡山大学

【MAKTAB サイエンス高校について】

MAKTAB サイエンス高校は、ブルネイにおける理系教育の最高峰とされる公立高校である。入学にあたっては、ブルネイ教育省が実施する小学校卒業時の全国統一試験「Penilaian Sekolah Rendah (PSR)」において、全科目で A 評価を取得することが必須条件となっている。

*他、ブルネイにて最優秀校と言われるインターナショナルスクール 2 校 (ISB と JIS) について、当校が主催するイベントに出展し日本留学情報を提供する方策を取っている。

		
進路担当と元日本留学生の先生方	資料コーナーの様子①	資料コーナーの様子②

③ ブルネイ・ダルサラーム大学 日本留学資料コーナー設置

設置日： 2026 年 2 月 6 日 (金)

設置場所： Universiti Brunei Darussalam (UDB)

本学と AUN 包括協定により交換留学を続けてきたブルネイ・ダルサラーム大学と 2024 年より資料コーナー設置を依頼し、この度、図書館内に設置を完了した。今回の設置にあたっては、無料での設置が大学側より快諾され、BAJA（ブルネイ元日本留学生協会）の支援を得て進められた。配架した資料については、短期交流プログラムや英語で大学院の進学可能なコースを有する大学を中心に協力を依頼し、最終的に 19 大学及び JASSO より資料提供を受けた。提供いただいた資料は、各大学より在ブルネイ日本国大使館宛てに直接送付いただき、大使館を通して取りまとめを行った。

【協力大学一覧】

秋田大学、大阪大学、香川大学、京都大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京外国語大学、兵庫県立大学、横浜国立大学、叡啓大学、慶応義塾大学、早稲田大学、上智大学、京都先端科学大学、立命館アジア太平洋大学、武蔵野大学、芝浦工業大学、岡山大学

【ブルネイ・ダルサラーム大学について】

Universiti Brunei Darussalam (UBD) は、1985 年設立のブルネイを代表する国立大学であり、国内最高学府として位置づけられている。8 学部、9 研究所を所有し、科学、健康科学、公共政策、ビジネス、教育、生物多様性、イスラーム研究など幅広い分野を提供している。

UBD の大きな特色として、全学生を対象導入されている「Discovery Year (探索の年)」制度では、学生は3年時に留学、インターンシップ、起業活動、地域貢献などから選択し、実践型な学習を経験できる。来年度から学部3年制へ変更となるため、2年時に派遣されることになる。学生数は約3,700名(学部生中心)で、大学院には国際学生も多い。教育言語は英語であり、国際的な学びや交流に適した環境が整備されている。また、UBD は世界各国の大学と幅広く提携しており、学術交流や留学プログラムが充実している。言語センターでは日本語教育も提供されており、ブルネイ政府公務員として勤務されている日本語教員の秋田有紀先生が約10年にわたり教鞭をとられている。本事業においてはコロナ禍前に本学協力教員等が初めて訪問し、その後も情報交換を継続、この度の資料コーナー設置においても、国際部担当教員と秋田先生よりご支援いただいた。

	
資料コーナーの様子 *追加スペース提供あり、更新予定	資料コーナーの管理を担う図書館スタッフの方

2025 年度ミャンマー向け日本留学フェア (Study in Japan Fair 2025 for Myanmar)

実 施 報 告

1. 主催等

- 1) 主催 岡山大学、在ミャンマー日本国大使館、ミャンマー元日本留学生協会 (MAJA)
- 2) 協力 ミャンマー日本人材開発センター (MJC)、MJC アッパーミャンマー同窓会 (MABA)、ミャンマー人材育成支援産学官連携ぷらっとフォーム

2. 配信対象エリア、参加対象者

ミャンマーの高校生、大学生、社会人等日本留学希望者、保護者、現地教育機関等関係者など

3. 開催日程、開催形態 (完全オンライン)

令和 7 年 8 月 29 日 (金) ~ 8 月 30 日 (土)

- 1) 7 月 28 日 (月) ~ 8 月 30 日 (土) : 特設ウェブサイト及び SNS (Facebook, Instagram, Telegram, TikTok) において日本留学基本情報、奨学金、各種日本留学に関する試験等の情報、日本留学後の就職に関する情報、参加 20 校の大学紹介を掲載
(特設ウェブサイト URL : <http://www.okayama-u.ac.jp/user/myanmar/prepare2025.html>)
- 2) 8 月 29 日 (金) 12:30~14:30 (日本時間) : MAJA、MJC、OJEIC による奨学金、各種日本留学に関する試験等の説明、及び参加機関による学校紹介 (14 大学各 5 分、70 分) を含むオンラインセミナー
- 3) 8 月 29 日 (金) 14:30~19:25、30 日 (土) 12:30~17:25 (日本時間) : 参加大学、大使館、MAJA、MJC によるオンライングループ相談会 (20 大学 3 機関、各機関 55 分、1 機関あたり 1 枠)

4. 参加者数等

● フェアへの参加登録者数	2,015 名	
● オンラインセミナー参加者数	289 人	(Zoom 225 名、YouTube 34 名)
● グループ相談会参加者数	824 人	※1
● 特設ウェブサイトへのアクセス数	13,505 回	(8/2-31 表示回数) 8,313 人 (同期間 総ユーザー数)
	695 回	(9/1-30 表示回数) 386 人 (同期間 総ユーザー数)

※1 : グループ相談会への参加者数は、Zoom の画面上で確認した同時最大接続数 (フェア実施関係者除く) のため、参考値として記載している。複数人が五月雨に出入りしていることから、実参加者数は報告数値よりも多いものと思われる。

5. 特設ウェブサイト内容

- 1) 日本留学基本情報 (Information about Study in Japan)
 - Introduction of Participating Universities (動画) : オンラインセミナーにおける 14 大学の学校紹介の様子
 - EJU, JLPT, Scholarship Information by MAJA (動画)、Scholarship Information by MJC (動画) : オンラインセミナーにおける MAJA 及び MJC からの情報提供の様子
 - Study in Japan Information by OJEIC (PDF ファイル) : 日本留学基本情報、奨学金情報等
 - Iuchi Foundation Care Worker Scholarship (PDF ファイル) : 井内アジア留学生記念財団による介護福

社士養成留学生奨学金の募集要項

- Scholarships for Myanmar Students in Japan (Excel ファイル)：独立行政法人日本学生支援機構による情報から作成したミャンマー人向け奨学金制度一覧
 - MJC Scholarship (PDF ファイル)：ミャンマーの民間セクターのための JICA 長期キャリア開発プログラム(LCDP)奨学金の紹介
- 2) 日本留学後の就職についての情報 (Explore career opportunities in Japan after graduation)
- Study and Work in Japan Lecture (動画)：株式会社アルバイトタイムスによる日本留学後の就職、就職活動等に関する基本情報
 - Experience talk of job hunting： Part 1、2、3 (動画)：日本で修業中の日本留学経験者による日本留学・就職情報 (岡山大学と愛媛大学の卒業生)
- 3) オンラインセミナータイムテーブル (Timetable for General Information Seminar) (ミャンマー時間)
- 主催挨拶 (岡山大学・鈴木孝義副学長、在ミャンマー日本国大使館・吉武将吾臨時代理大使、MAJA・Myo Khin 会長)
 - 大学紹介 (国立大学 3 校：岡山大学、金沢大学、静岡大学 公立大学 1 校：叡啓大学 私立大学 10 校：亜細亜大学、京都先端科学大学、城西大学、城西国際大学大学院、津田塾大学、東京外国語大学、東京国際大学、東洋大学、立命館大学、立命館アジア太平洋大学 計 14 大学)
 - EJU、JLPT、国費奨学金等情報提供 (MAJA・ティンエイエイク先生)
 - MJC 奨学金情報 (MJC・アウンカインミン先生)
 - 日本留学基本情報提供とオンライングループ相談会の案内 (OJEIC・トゥトゥヌエエー・アソシエイトコーディネーター)
 - 閉会挨拶 (岡山大学・鳥越麻美 留学コーディネーター)

- 4) オンライングループ相談会タイムテーブル (Timetable for Group Consultation) (ミャンマー時間)
- 国立大学 8 校、公立 1 校、私立大学 11 校、在ミャンマー日本国大使館、MAJA、MJC 計 23 機関

8 月 29 日 (金) (下記、日本時間に換算)		8 月 30 日 (土) (下記、日本時間に換算)	
14:30-15:25	叡啓大学 金沢大学	12:30-13:25	京都先端科学大学 立命館アジア太平洋大学
15:30-16:25	立命館大学 東京国際大学	13:30-14:25	亜細亜大学 静岡大学
16:30-17:25	城西国際大学大学院 東洋大学 在ミャンマー日本国大使館	14:30-15:25	ミャンマー元日本留学生協会 熊本大学 長崎大学
17:30-18:25	静岡大学 津田塾大学 ミャンマー人材開発センター	15:30-16:25	城西大学 宮崎大学
18:30-19:25	武蔵野大学 筑波大学	16:30-17:25	東京外国語大学 岡山大学

- 5) 参加大学紹介 (Participating Universities)：国立大学 8 校、公立 1 校、私立大学 11 校 計 20 大学
- 大学種別：国立／公立／私立

- 保持している課程：学部／大学院（修士）／大学院（博士）
- すべて英語で学位取得できる課程：学部／大学院（修士）／大学院（博士）
- 渡日前入学制度のある課程：学部／大学院（修士）／大学院（博士）
- EJU を利用した申請が可能か：可／不可
- ウェブサイト URL、コース・プログラム掲載ページ URL、奨学金情報掲載ページ URL、FAQ 掲載ページ等 URL、動画、PDF などのコンテンツ

6. 概況と所感

1) はじめに

岡山大学は平成 26 年度より 10 年間、日本政府・教育機関を代表し、ミャンマーにおいて日本留学フェアを実施してきた。令和 2 年度以降は現地情勢を踏まえ、オンライン形式へと移行し、本年度も完全オンラインで開催した。本フェアへは 2,015 名の参加登録があり、今年度はミャンマー国内の学生に加え、日本の日本語学校に通う学生や、タイなど他国の大学等に在籍する学生の参加も目立った。イベント当日はオンラインセミナーへは Zoom から 225 人、YouTube から 34 人の合計 289 人、オンライングループ相談会へは延べ 824 人が参加し、大きなトラブルに見舞われることなく無事に終了することができた。フェアのメインコンテンツとして、特設ウェブサイトにおける情報提供、主催者と参加大学によるオンラインセミナー、主催者と参加大学によるオンライングループ相談会の 3 つを実施した。

2) 特設ウェブサイト

特設ウェブサイトには、上記 5 の通り情報を掲載した。本フェアのウェブサイトは、回線速度が遅い地域でも容易にアクセスすることができるように、シンプルで、わかりやすいものを目指した。ページ構成は 3 ページとし、トップページ及び大学紹介ページ、オンライングループ相談会参加用ページとした。オンラインセミナーは Zoom 及び YouTube ライブ配信により参加可能とし、それぞれのリンクを特設ウェブサイトのトップページに掲載した。また、オンライングループ相談会のページは隠しページとし、フェア参加登録者のみに URL を提供した。これまでの経験から得られた知見を踏まえ、参加者の利便性の観点から、セミナーおよびグループ相談会は事前予約を不要としている。また、参加者のほとんどはスマートフォンから閲覧するため、スマートフォンでも見やすいユーザーインターフェースを採用した。さらに、ミャンマーに特化した日本留学情報や就職情報を掲載することで、日本留学への関心を高め、知識を深める機会を提供した。その結果、参加者への事後アンケートでは、特設ウェブサイトが最も人気の高いコンテンツとなり、イベント最終 2 日間のサイトアクセス数は昨年度の 2.5 倍に達した。

3) オンラインセミナー

オンラインセミナーでは、冒頭、本学より鈴木孝義副学長（国際担当）、在ミャンマー日本国大使館より吉武将吾臨時代理大使、MAJA より Myo Khin 会長にご挨拶いただいた。続いて、本学を含む 14 大学の学校紹介と、MAJA、MJC、岡山大学日本留学情報センター（OJEIC）により日本留学基本情報、奨学金や試験情報が提供された。昨年同様、今年度も参加者の集中が途切れないよう、各大学の紹介は 5 分ずつで実施。参加者への事後アンケートでも、オンラインセミナーは人気の高いコンテンツであり、参加大学からも、「短時間で大学の要点を紹介でき、グループ相談会につながられた」という意見が寄せられている。

4) オンライングループ相談会

オンライングループ相談会では、教職員による学校紹介、ミャンマー人留学生による留学経験談の発表、

質疑応答など、各大学が工夫を凝らしたプログラムを展開していた。Zoom のブレイクアウトルーム機能を活用し、少人数グループで質疑応答を実施した大学や、ミャンマー人現役留学生がミャンマー語で対応するなどの工夫も見受けられた。質疑応答の対応は参加者から好評を得ており、事後アンケートでは、「もっと現役のミャンマー人学生との質疑応答を設けてほしい」、「小グループでの対応を行ってほしい」や、「質疑応答にもっと時間をかけてほしい」といった声が寄せられている。参加者数の多い大学では、ブレイクアウトルーム機能を活用することで、参加者・大学双方の満足度向上につながる可能性がある。

また、参加大学からのフィードバックとして、EJU や JLPT について把握していない参加者がいたことや、大学の Web サイトを事前に確認すれば分かるような初歩的な質問が寄せられたことから、参加者への事前情報提供が課題として挙げられた。この点についてはフェアを開始した当初から直面している課題であり、例年、特設サイトの改良や、Facebook・テレグラムを通じたミャンマー語での情報提供などで対応している。しかし、毎年、海外留学や日本留学について初めて触れる層が一定数参加するため、継続的な課題となっている。

参加者のグループ相談会への参加方法としては、これまでの経験から効率的に運営できる方法として、特設ウェブサイトにも各相談会のリンクを掲載したページを作成し、その URL を参加登録者のみに送付する方式を採用している。これにより、事前予約なしで希望する複数の大学の相談会に自由に参加できるようにした。グループ相談会自体の事前登録は不要であるが、参加登録時に興味のある大学を選択できるようにしており、その情報は各参加機関に提供した。ただし、事前に送付したリストの人数と当日の実際の参加者数に大きな差異があったため、より正確な事前情報の把握を求める声も寄せられている。なお、通常のオンラインイベントでも、当日参加者は登録者の 1/5~1/3 程にとどまることが多く、参加率を高めることは難しい課題でもある。今回は、学校の授業等で不参加となった参加者も含め、セミナー動画のリンクなどを事後に送付した。

5) 広報活動

例年通りフライヤーの作成と特設ウェブサイトの開設を行い、これらのコンテンツは主に現地の学校訪問や SNS を中心に発信した。現地での学校訪問などによるチラシ配布に加え、OJEIC Myanmar の Facebook、Instagram、Telegram、TikTok をはじめ、主催機関である在ミャンマー日本国大使館や MAJA の Facebook でも広報を行った。

OJEIC Myanmar の Facebook は、旧留学コーディネーター配置事業（ミャンマー）からの積み重ねと実績により、ASEAN の中でも特に広報効果が高い媒体となっている。しかし、昨今軍事政権によるメタ系 SNS への閲覧規制が掛けられており、一部接続が難しい層もいるため、若者の間で人気の高い Telegram と TikTok 等も利用し、本フェアの広報も複数の SNS を通じて広く展開した。現地事情や過去の広告効果を踏まえ、TV・ラジオ CM、新聞広告や立て看板の設置は採用しなかった。

また、昨今のオンラインフェアでは、フェア開始前に参加登録方法などを案内するプレセミナーを実施しており、これも集客に寄与していると考えられる。今年度もプレセミナーを開催し、フェアの概要説明、ウェブサイトの見方、参加登録方法などをミャンマー語で案内した。

6) アンケート（参加者及び参加大学対象）

別紙 1 「定量レポート」のとおり。

7) その他、運営の改善点など

これまで、オンラインイベントの開始時の接続や、スライド・動画の再生、音声配信に関するトラブルが発生していた反省を踏まえ、昨年に引き続き、オンラインセミナーでは、登壇者に対して事前に接続お

よび画面・音声共有のテストを実施した。グループ相談会についても、各参加機関に事前の接続テストを必ず行うよう促すとともに、本学スタッフが全てのグループ相談会に開始直後から参加し、トラブルに備えた。その結果、オンラインセミナー本番では進行を妨げるような大きなトラブル発生しなかった。ただし、冒頭の吉武臨時代理大使によるご挨拶では、現地のネット回線の不具合により発言が数回中断され、全体として約10分の遅れが生じた。また、同様の回線問題により、MAJAのミョーキン会長の音声も聞き取りづらい状況となったが、スピーチの内容については後日Facebook記事にて改めて紹介した。

また、当初のタイムテーブルではオンラインセミナーとグループ相談会の間に休憩時間を設けていなかったため、セミナー終了直後に開始されたグループ相談会では、冒頭に参加者が集まりにくい状況となった。今後は、オンラインセミナーとグループ相談会の間に15分程度のインターバルを設けることが望ましいと考えられる。

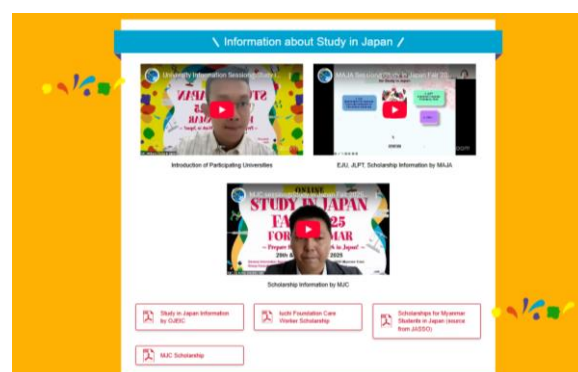
なお、グループ相談会では、持ち時間を超えて実施している大学も一部見受けられたが、本学スタッフによる声掛けにより、概ね時間内に終了していただくことができた。なお、今年度、集客数が少なかったと指摘された機関に対しては、来年度の実施に際し、個別に対策を講じたい。

7. フェアの様子 (写真)

▼特設ウェブサイト (TOP 上部)



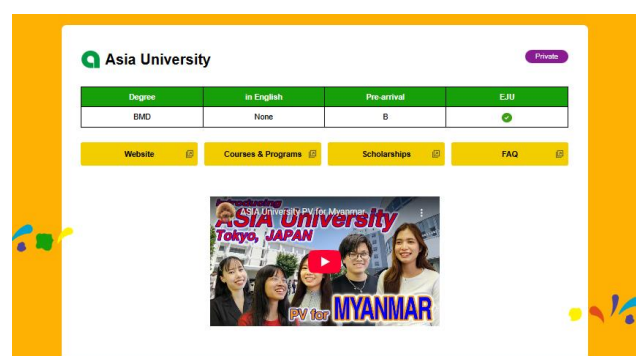
▼特設ウェブサイト (TOP・ライブラリー)



▼特設ウェブサイト (TOP・ライブラリー)



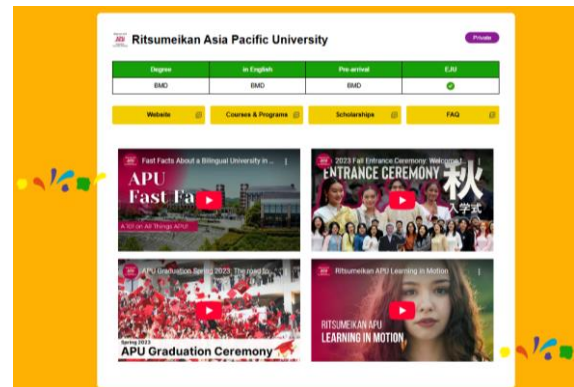
▼特設ウェブサイト (大学一覧)



▼特設ウェブサイト (グループ相談会)

▼特設ウェブサイト (大学一覧)

29th August (Fri)			
12:00PM - 12:05PM	Eden University of Hsinchu Zoom ID: 873 183 886 PW: 30477	Kansai University Zoom ID: 808 4375 058 PW: 52530	
1:00PM - 1:05PM	Ritsumeikan University Zoom ID: 871 454 585 PW: 24626	Tokyo International University Zoom ID: 850 9108 7411 PW: 97281	
2:00PM - 2:05PM	Joze International University, Graduate School of International Administration Zoom ID: 847 6443 526 PW: 61440	Togo University Zoom ID: 813 424 5874 PW: 70506	The Embassy of Japan in Myanmar Zoom ID: 343 6448 5533 PW: 58483
3:00PM - 3:05PM	Shizuoka University Zoom ID: 919 9736 555 PW: 22565	Tsuda University Zoom ID: 343 6448 5533 PW: 43865	Myanmar Japan Center for Human Resource Development (MJC) Zoom ID: 940 9852 1627 PW: 626952
4:00PM - 4:05PM	Musashino University Zoom ID: 861 9138 7026 PW: 344626	University of Tsukuba Zoom ID: 852 5338 5675 PW: 363855A	



▼オンラインセミナー（主催・鈴木副学長）



▼オンラインセミナー（主催・吉武臨時代理大使）



▼オンラインセミナー（主催・ミョーキン会長）



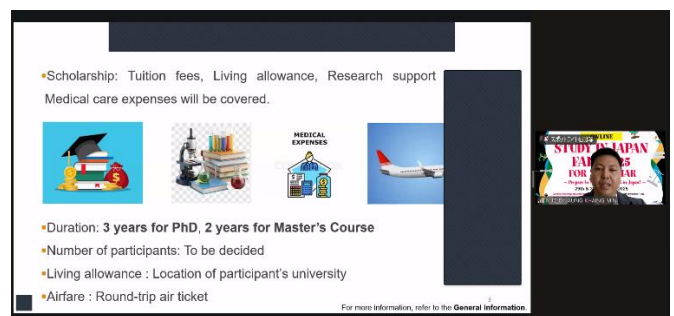
▼オンラインセミナー(MC・岡山大学ウィリアム氏)



▼オンラインセミナー(MAJA・日本留学試験説明)

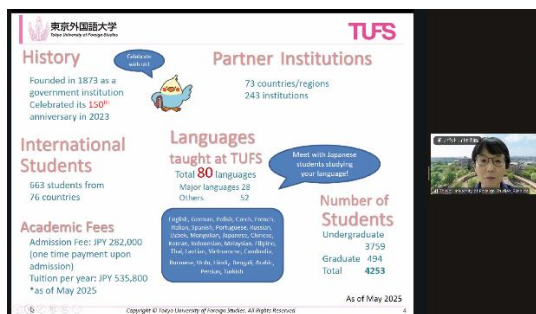


▼オンラインセミナー（MJC・MJC 奨学金説明）



▼オンラインセミナー（東京外国語大学）

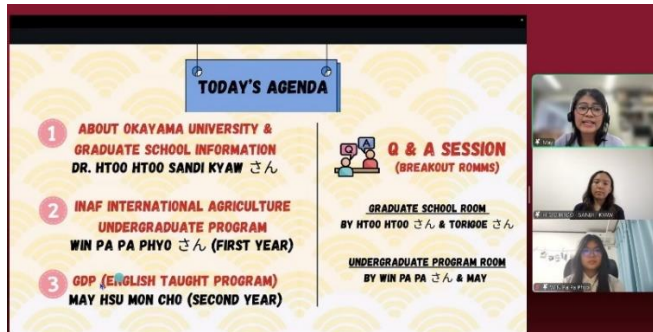
▼オンラインセミナー（OJEIC・日本留学概要説明）



▼グループ相談会（金沢大学より提供）



▼グループ相談会（岡山大学）



8. 参加大学一覧（五十音順）

計 20 大学

	特設ウェブサイト への情報掲載	オンライン セミナー	オンライン グループ相談会
国立大学 8 校			
岡山大学※	○	○	○
金沢大学※	○	○	○
熊本大学※	○	—	○
静岡大学	○	—	○
筑波大学	○	○	○
長崎大学※	○	—	○
新潟大学※	○	—	○
宮崎大学	○	—	○
公立大学 1 校			
叡啓大学	○	○	○
私立大学 11 校			
亜細亜大学※	○	○	○
京都先端科学大学	○	○	○
城西大学※	○	○	○
城西国際大学大学院	○	○	○
津田塾大学	○	○	○

東京外国語大学	○	○	○
東京国際大学	○	○	○
東洋大学	○	○	○
武蔵野大学	○	—	○
立命館大学	○	○	○
立命館アジア太平洋大学	○	○	○

※ ミャンマー人材育成支援産官学連携ぶらっとフォーム会員校

セミナー等実績一覧

	日付	地域	開催/ 参加	活動	場所	参加 人数	元留学 生数	現役留 学生数	開催、参加大学等
インドネシア	6/28	インドネシア	主催	日本留学セミナー	オンライン	58			JASSOジャカルタ
	7/7	ジャカルタ	主催	日本留学セミナー	対面	17	2		インドネシア大学工学部向けセミナー
	7/8	ジャカルタ	主催	日本留学セミナー	対面	44			JASSOジャカルタ
	7/11	マカッサル	主催	日本留学セミナー	対面	26			マカッサルMGMP（日本語教師会）
	7/17	南タンゲラン	主催	日本留学セミナー	対面	100			SMA Islam Sinar Cendekia
	7/19-20	ジャカルタ	参加	日本留学フェア	対面	210	4		インドネシア元日本留学生協会、外国人留学生高等教育協会、国際人流振興協会
	7/21	ジャカルタ	共催	日本留学セミナー	対面	73			JASSOインドネシア
	8/21	インドネシア	協力	日本留学セミナー	オンライン	81		1	千葉大学
	9/19	メダン	参加	日本留学セミナー	対面	383	3		在メダン日本国総領事館
	9/19	メダン	参加	その他	対面	45	30		在メダン日本国総領事館
	9/27	ジャカルタ	参加	その他フェア	対面	147	4		インドネシア日本友好財団
	9/28	ジャカルタ	参加	その他フェア	対面	76	4		インドネシア日本友好財団
	11/15	ボゴール	参加	その他フェア	対面	120	2		IPB
	11/18	マラン	主催	日本留学セミナー	対面	37			Universitas Negeri Malang
	11/20	マラン	参加	日本留学フェア	対面	45			熊本大学
	11/21	スラバヤ	主催	日本留学セミナー	対面	97		1	Universitas Airlanggaにて
	11/21	スラバヤ	共催	日本留学セミナー	対面	84			芝浦工業大学、熊本大学
	11/22	スラバヤ	共催	日本留学フェア	対面	1,173	13		JASSO
	11/23	ジャカルタ	共催	日本留学フェア	対面	5,335	25		JASSO
	11/24	ジャカルタ	共催	日本留学セミナー	ハイブリッド	40			北海道大学
	11/25	ジャカルタ	参加	その他フェア	対面	17			Ichthus Schools
	11/25	ジャカルタ	主催	日本留学セミナー	対面	301	2		ダルマプルスダ大学、芝浦工業大学、宮城県キャリアサポートセンター、大崎市立おおさき日本語学校
	12/8-9	ジャカルタ	参加	その他フェア	対面	83	2		UI Globe Fair Team/ Outgoing Mobility Directorate for Internationalization of Education
	12/14	ジャカルタ	主催	日本留学セミナー	対面	52	2		JASSO
	1/22	南タンゲラン	参加	その他フェア	対面	479	1		SMAN2 Tangerang Selatan
	2/5	ジャカルタ	主催	日本留学セミナー	対面	245	1		JASSO Indonesia・東北大学
	2/5	ジャカルタ	主催	日本留学セミナー	対面	220	1		JASSO Indonesia・東北大学
	2/6	ジャカルタ	主催	日本留学セミナー	対面	70	1		JASSO Indonesia・東北大学
	2/6	ジャカルタ	主催	日本留学セミナー	対面	33	1		東北大学
	2/9	ジャカルタ	主催	日本留学セミナー	対面	86	2		在インドネシア日本国大使館・JASSO Indonesia、東北大学
	3/5	インドネシア	主催	日本留学セミナー	対面	40	2		
マレーシア	4/25	ミリ	参加	その他フェア	対面	103			MMS Education Placement Specialist
	4/26	ミリ	参加	その他フェア	対面	48			MMS Education Placement Specialist
	4/27	ミリ	参加	その他フェア	対面	97			MMS Education Placement Specialist
	5/16	セランゴール	主催	その他	ハイブリッド	135			Universiti Putra Malaysia
	5/16	セランゴール	共催	日本留学セミナー	ハイブリッド	91	1		Universiti Putra Malaysia
	6/21	マレーシア	参加	その他	対面	37			Soka International School
	6/20-22	ベナン	参加	その他	対面	282			JAGAM, Eco world、JF、JNTO
	6/27	マレーシア	参加	その他	対面	38	2		Kunii Kodomo
	7/3	コタキナバル	参加	その他フェア	対面	46			Kian Kok Middle School
	7/5	コタキナバル	参加	その他フェア	対面	279			Sabah Tshung Tsin Secondary School
	7/9	スパン	参加	その他フェア	対面	500			SMK Subang
	7/16	マレーシア/ASEAN	共催	日本留学セミナー	オンライン	76			広島大学
	8/23-24	マレーシア	協力	日本留学フェア	対面	126			JAGAM Education Fair
	11/7	マレーシア/インドネシア	主催	日本留学セミナー	オンライン	148			北海道大学
	1/12	ミリ	参加	日本留学セミナー	対面	250			SM Sains Miri、筑波大学マレーシア校
	1/13	ミリ	参加	その他フェア	対面	130			St. Columba、筑波大学マレーシア校+現地校6校
	1/13	ミリ	参加	日本留学セミナー	対面	130			Kokej Tun Datu Tuank Haji Burang、筑波大学マレーシア校
	1/14	サラワク	参加	日本留学セミナー	対面	50			MRSMB Bintulu、筑波大学マレーシア校
	1/18	マレーシア	協力	日本留学フェア	対面	3,423	1	1	ALEPS
	1/24-25	クアラルンプール	共催	日本留学フェア	対面	1,015	15		JASSO
	2/12	コタキナバル	参加	その他	対面	52			コタキナバル領事事務所主催、日系大学参加：筑波大学マレーシア校
	3/7	ジョホールバル	参加	日本留学セミナー	対面	25			License Academy Japan Education Fair
	3/8	クアラルンプール	参加	日本留学セミナー	対面	45	1		License Academy Japan Education Fair
	3/16	マラッカ	参加	その他フェア	対面	221			2026 LEAM International Education Expo
	3/17	クアラルンプール	参加	その他フェア	対面	189			2026 LEAM International Education Expo
	3/31	ブトラジャヤ	参加	その他フェア	対面	35			Sekolah Sultan Alam Shah 進学フェア
ミャンマー	4/9	ミャンマー	主催	日本国大使館アドバイザー	オンライン	66	2		日本国大使館、MAJA、KUAS
	4/30	ヤンゴン	共催	日本留学ブース	対面	10	1		インターナショナルスクールヤンゴン
	5/7	ミャンマー	主催	日本国大使館アドバイザー	オンライン	140	2		日本国大使館、MAJA、APU
	6/4	ミャンマー	主催	日本国大使館アドバイザー	オンライン	53	2		日本国大使館、MAJA、高専機構
	6/8	ミャンマー	共催	EJUオリエンテーションセミナー	オンライン	46	2		MAJA
	6/14	ヤンゴン	主催	日本セミナー	ハイブリッド	30	1	1	国際交流基金、明治大学
	7/2	ミャンマー	主催	日本国大使館アドバイザー	オンライン	46	2		日本国大使館、MAJA、修成学園
	7/22	ミャンマー	共催	日本留学セミナー	オンライン	29	1		Bright Institute
	7/25	ヤンゴン	主催	日本留学セミナー	対面	120	1		ルンビニ高校
	8/2-3	ヤンゴン	協力	日本留学フェア	対面	772	1		ガ、ア、イ、ロ、ハ、ニ、ホ、ヘ、フ、ボ、バ、ビ、ブ、ポ、パ、ピ、プ、ペ、
	8/6	ミャンマー	主催	日本国大使館アドバイザー	オンライン	79	2		日本国大使館、MAJA、MJC
	8/13	ミャンマー	主催	日本留学セミナー	対面	6	0		Pyo sensei日本語学校
	8/14	ミャンマー	主催	日本留学セミナー	対面	45	0		まるい日本語学校
	8/19	マンダレー	主催	日本留学セミナー	対面	105	0		CAEインターナショナルスクール

	8/29-30	ミャンマー	主催	日本留学フェア	オンライン	1,113	4	2	20大学、日本大使館、MAJA、MJC
	9/15	ミャンマー	参加	海外留学フェア出展	ハイブリッド	78	1		MISCA
	9/17	マンダレー	主催	日本留学フェア	対面	85	1	1	ビンマ高校
	9/24	ミャンマー	主催	日本留学セミナー	対面	42	2		Auston College
	10/1	ミャンマー	主催	日本国大使館アドバイザー	オンライン	59	1		日本国大使館、MAJA、上智大学
	10/3	ヤンゴン	主催	日本セミナー	ハイブリッド	38	1		国際交流基金、岡山大学文学部
	11/5	ミャンマー	主催	日本国大使館アドバイザー	オンライン	24	2		日本国大使館、MAJA、茗溪学園高校
	12/3	ミャンマー	主催	日本国大使館アドバイザー	オンライン	55	2		日本国大使館、MAJA、福井大学
	12/12	ミャンマー	主催	EJUオリエンテーションセミナー	対面	30	2		MAJA
	12/17	ミャンマー	共催	日本留学セミナー	対面	34	2		そら日本語学校
	1/7	ミャンマー	主催	日本国大使館アドバイザー	オンライン	64	2		日本国大使館、MAJA、早稲田大学
	1/21	ミャンマー	主催	日本留学セミナー	オンライン	25	1		山梨学院大学、アオバインターナショナルスクール
	2/4	ミャンマー	主催	日本大使館アドバイザー	オンライン	44	2		日本大使館、MAJA、電子通信大学
	2/7	ミャンマー	参加	Honda Y-E-S授与式での情報提供	対面	61	1		本田財団、MAJA
	2/21-22	ミャンマー	協力	日本留学フェア	対面	341	2		ライセンスアカデミー
	2/26	ミャンマー	協力	日本セミナー	対面	70	1		ミャンマー-JICA日本センター
	3/4	ミャンマー	主催	日本大使館アドバイザー	オンライン	35	2		日本大使館、MAJA、桜美林大学
	3/17	ヤンゴン	主催	日本留学セミナー	対面	43	1		オハイオ日本語学校
	3/17	ヤンゴン	主催	日本留学セミナー	対面	12	1		Global Star International School
タイ	6/26-27	トラン	主催	日本留学フェア	対面	324	3		岡山大学、金沢大学、京都大、東海大、芝浦工大、福井工大、JASSO
	8/6	タイ	主催	日本留学フェア	オンライン	143	3		岡山大学、京都大、京都工芸繊維大、東京農工大、電気通信大、名古屋大
	9/6	チェンマイ	協力	日本留学フェア	対面	562	9		JASSO
	9/7	バンコク	協力	日本留学フェア	対面	820	20		JASSO
	9/8	バンコク	参加	日本留学フェア	対面	64			泰日工業大学
	9/9	バンコク	共催	日本留学フェア	対面	90			ニュートン第6高校、東京国際大、叡啓大、京大、阪大、KUAS
	11/21	バンコク	参加	その他フェア	対面	50			マヒドン大学附属高校
	1/28	ウボンラチャタニ	参加	日本留学フェア	対面	23	2		日本国大使館、Vichitra Pittaya高校
	1/28	ウボンラチャタニ	参加	日本留学フェア	対面	67	2		日本国大使館、ウボンラチャタニ大学
	1/29	ウボンラチャタニ	参加	日本留学フェア	対面	36	2		日本国大使館、Triam Udom Sukusa Pattanakarn Ubon Ratchathani高校
	2/19	ビスヌローク	参加	日本留学フェア	対面	40	2		日本国大使館、ナレスワン大学
	2/19	ビスヌローク	参加	日本留学フェア	対面	30	2		日本国大使館、Chalermkwansatree高校
	2/20	ビスヌローク	参加	日本留学フェア	対面	34	2		日本国大使館、Princess Chulabhorn Science高校
	2/26	コンケン	参加	日本留学フェア	対面	46	2		日本国大使館、Ban Phai高校
	2/27	コンケン	参加	日本留学フェア	対面	48	2		日本国大使館、コンケン大学
カンボジア	4/5	プノンベン	協力	日本留学セミナー	対面	225	5		日本・カンボジア希望協会、日本国大使館
	6/5-6/6	プノンベン	参加	その他フェア	対面	200	1		Institute of Technology of Cambodia
	7/10	コンボントム	参加	日本留学セミナー	対面	190	4		国際交流基金、CJCC、Hun Sen Tang Kok High School
	7/11	ブレアヴィヒア	参加	日本留学セミナー	対面	39	4		国際交流基金、CJCC、Cheasimbeng Meanchey High School
	7/12	シェムリアップ	参加	日本留学セミナー	対面	144	4		国際交流基金、CJCC、Angkor High School
	7/12	プノンベン	参加	その他フェア	対面	162	2		CJCC
	7/13	プノンベン	参加	その他フェア	対面	113	2		CJCC
	7/13	プノンベン	主催	日本留学セミナー	対面	34	2		京都先端科学大学
	10/17	プノンベン	共催	日本留学フェア	対面	976	2		CJCC
	10/17	プノンベン	主催	日本留学セミナー	対面	38	2		CJCC
	10/18	プノンベン	共催	日本留学フェア	対面	91	2		CJCC
	10/20	プノンベン	共催	日本留学セミナー	対面	64	2		Pannasastra International School (Sen Sok Campus)
	10/21	プノンベン	共催	日本留学セミナー	対面	84	2		Pannasastra International School (NR3 Campus)
	10/21	プノンベン	共催	日本留学セミナー	対面	32	2		Pannasastra International School (BKK Campus)
	12/10	シェムリアップ	主催	日本留学セミナー	対面	100	2		Future Bright International School
	12/11	シェムリアップ	主催	日本留学セミナー	対面	75	2		Smartkids International School
	12/11	シェムリアップ	主催	日本セミナー	対面	19	2		Pannasastra International School (Siem Reap)
	12/11	シェムリアップ	主催	日本留学セミナー	対面	51	2		Australia Pacific International School
	12/12	シェムリアップ	主催	日本留学セミナー	対面	23	2		Go Global School
	12/12	シェムリアップ	主催	日本留学セミナー	対面	20	2		International School Siem Reap (ISSR)
	2/3	プノンベン	主催	日本留学セミナー	対面	27	2		Smartkids International School (Phnom Penh)
	2/4	プノンベン	主催	日本留学セミナー	対面	12	2		名古屋大学日本法教育センター（王立法律経済大学内）
	2/4	プノンベン	主催	日本留学セミナー	対面	90	2		王立農業大学
	2/7	プノンベン	参加	日本留学セミナー	対面	21	3		CJCC
	2/6-2/8	プノンベン	参加	その他フェア	対面	231	2		CJCC
	2/27	シェムリアップ	協力	日本留学フェア	対面	34	1		CJCC
	2/27	シェムリアップ	協力	日本留学セミナー	ハイブリッド	19	1		CJCC
	2/28	プノンベン	参加	その他フェア	対面	50	1		Smartkids International School (Phnom Penh)
	3/14-3/15	シェムリアップ	参加	その他フェア	対面	365	1		Australia Pacific International School
	3/16	プノンベン	参加	日本留学セミナー	対面	86	1		Suvarnaphumi International School
ラオス	4/10	ラオス	主催	日本留学セミナー	オンライン	3	1		
	4/23	ラオス	主催	日本留学セミナー	オンライン	30	2		日本国大使館
	5/2	ビエンチャン	共催	日本留学セミナー	対面	82	2		日本国大使館、ビエンチャン高校
	5/9	ラオス	共催	日本留学セミナー	対面	65	2		日本国大使館、パタナー高校
	5/15	ビエンチャン	共催	日本留学セミナー	対面	65	2		日本国大使館、ホンサバン高校
	6/19	ビエンチャン	共催	学生交流を含むセミナー	オンライン	7	1	1	LJI
	7/25	ビエンチャン	主催	学生交流を含むセミナー	ハイブリッド	12	1	1	
	7/30	ビエンチャン	共催	日本留学セミナー	対面	30	1		国際交流基金、岡山大学
	8/8	ラオス	共催	日本留学セミナー	オンライン	27	1		JICE、JICA

	8/20	ビエンチャン	主催	学生交流を含むセミナー	ハイブリッド	12	1	4	LJI、神戸大学
	9/4	ビエンチャン	主催	日本留学セミナー	ハイブリッド	12	1		
	9/25	ビエンチャン	主催	日本留学セミナー	対面	56	1		LJI、シンサイ高校
	9/26	ビエンチャン	主催	日本留学セミナー	対面	53	1		LJI、ボンサヴァン高校
	9/30	ビエンチャン	主催	日本留学セミナー	対面	58	1		LJI、ヴァンマイ高校
	10/1	ビエンチャン	主催	日本留学セミナー	対面	30	2		LJI、ラオス国立大学工学部
	10/3,4	ビエンチャン	参加	海外留学フェアブース出展	対面	225	1		ラオス国立大学
	10/6	ビエンチャン	主催	日本留学セミナー	対面	11	2		LJI、日本国大使館、ラオス国立大学経済学部
	10/9	ビエンチャン	主催	日本留学セミナー	対面	34	2		在ラオス日本国大使館、ラオス国立大学文学部日本語学科
	10/10	ビエンチャン	主催	日本留学セミナー	対面	31	2		LJI、ラオス国立大学社会学部
	10/10	ビエンチャン	主催	日本留学セミナー	対面	16	2		LJI、ラオス国立大学環境学部
	10/14	ビエンチャン	主催	日本留学セミナー	ハイブリッド	40	1		ハーケオ高校、名古屋大学、KUAS、武蔵野大学、亜細亜大学
	10/15	ビエンチャン	共催	日本留学フェア	ハイブリッド	476	5		LJI、岡山大学、亜細亜大学、長崎大学、KUAS、武蔵野大学、名古屋大学
	10/18	ラオス	協力	海外留学フェアブース出展	対面	29	1		パンニャティップインターナショナルスクール
	10/22	ビエンチャン	主催	日本留学セミナー	ハイブリッド	39	2		日本国大使館、Vientiane Pattana International School
	11/6-7	ビエンチャン	参加	大学祭ブース出展	対面	68	1		ラオス国立大学
	11/24	ビエンチャン	参加	海外留学フェアブース出展	対面	80	1		KISインターナショナルスクール
	11/26	ラオス	参加	学生交流を含むセミナー	ハイブリッド	11	1		東京外国語大学日本人学生、筑波大学日本人学生
	12/10-12	ビエンチャン	参加	日本研究学会でのブース展示	対面	64	1		ラオス国立大学社会学部ジェンダー研究グループ、Japanese Studies Association of Southeast Asia (JSA-ASEAN)、国際交流基金
	12/17	ビエンチャン	主催	アカデミックセミナー	ハイブリッド	27	2		LJI
	1/16	ビエンチャン	参加	お正月祭りブース展示	対面	120	1		LJI
	1/30	ビエンチャン	共催	日本セミナー	対面	45	1		LJI、国際交流基金、ボンサヴァン高校
	2/9	ビエンチャン	共催	日本留学セミナー	ハイブリッド	56	2	1	日本大使館、インターナショナルスクールオブラオス
	2/19	ビエンチャン	共催	学生交流を含むセミナー	対面	60	1		ハーケオ高校、岡山大学日本人学生
	2/19	ビエンチャン	協力	日本セミナー	対面	55	1		ソンバンニャ高校、国際交流基金、LJI
	3/7	ビエンチャン	参加	日本語スピーチコンテストでの登壇	対面	48	1		日本語スピーチコンテスト実行委員会
	3/11	ルアンパバーン	協力	日本セミナー	対面	22	1		スバヌヴォン大学、国際交流基金、LJI
	3/12	ルアンパバーン	協力	日本セミナー	対面	66	1		サンティパーブ高校、国際交流基金、LJI
	3/12	ルアンパバーン	協力	日本セミナー	対面	46	1		バンルアン高校、国際交流基金、LJI
	3/25	ビエンチャン	主催	学生交流を含むセミナー	ハイブリッド	13	1	1	東京外国語大学日本人学生、筑波大学日本人学生
	3/27	ビエンチャン	参加	ジョブフェア出展	対面	135	1		ラオス国立大学工学部
フィリピン	4/10	フィリピン（東京）	協力	日本留学セミナー	対面	12			在日本フィリピン共和国大使館
	4/23	フィリピン・マニラ	参加	日本留学セミナー	対面	14			Ateneo de Manila University
	4/24	フィリピン・マニラ	共催	日本留学セミナー	対面	160			在フィリピン日本国大使館、岡山大学
	4/26	フィリピン・ダバオ	参加	日本留学フェア	対面	19			ライセンスアカデミー
	4/27	フィリピン・マニラ	参加	日本留学フェア	対面	47			ライセンスアカデミー
	9/3	フィリピン	参加	その他フェア	オンライン	10		1	CAMP Philippines
	9/23	フィリピン・セブ	共催	日本留学セミナー	対面	64			サンカルロス大学看護学部
	10/27	フィリピン・マニラ	共催	日本留学セミナー	対面	230			Far Eastern University
	10/28	フィリピン・マニラ	共催	日本留学セミナー	対面	170			Mapua University
	10/28	フィリピン・マニラ	参加	その他フェア	対面	100			Mapua University
	1/28	フィリピン・セブ	協力	日本留学セミナー	ハイブリッド	24	1		PHILAJAMES、在セブ日本国総領事館、University of Cebu
	1/29	フィリピン・セブ	協力	日本留学セミナー	オンライン	94			PHILAJAMES、在セブ日本国総領事館、Cebu Technological University
	2/10	フィリピン・セブ	共催	日本留学セミナー	対面	90			在セブ日本国総領事館、UP-Cebu
	2/11	フィリピン・セブ	共催	日本留学セミナー	対面	33			在セブ日本国総領事館、CTU-Argao
	2/12	フィリピン・セブ	共催	日本留学セミナー	対面	253			在セブ日本国総領事館、University of San Carlos Senior High School
	2/12	フィリピン・セブ	共催	日本留学セミナー	対面	90			在セブ日本国総領事館、CTU-Danao
	2/13	フィリピン・セブ	共催	日本留学セミナー	対面	106			在セブ日本国総領事館、CTU Main
	2/13	フィリピン・セブ	共催	日本留学セミナー	対面	150			在セブ日本国総領事館、University of Cebu SHS
	3/24-25	フィリピン・マニラ	参加	その他フェア	対面	351			University of the Philippines-Dilliman
	3/24	フィリピン・マニラ	参加	日本留学セミナー	対面	25			University of the Philippines-Dilliman
ベトナム	5/14	ベトナム・ハノイ	参加	日本留学フェア	対面	390			JASSO
	9/6	ベトナム・ダナン	参加	日本留学フェア	対面	120			JASSO、在ダナン日本国総領事館
	10/4~5	ベトナム・ハノイ	協力	日本留学フェア	対面	1,599	14		JASSO、CIED
	3/6	ベトナム・ホーチミン	参加	その他	対面	410			
	3/15	ベトナム	主催	その他セミナー	オンライン	28	1	1	JASSOベトナム事務所
上記以外	7/16	ASEAN	主催	日本留学セミナー	オンライン	76		1	広島大学
	9/18	ASEAN	主催	日本留学フェア	オンライン	110		6	京都大学
	10/11	シンガポール	協力	日本留学フェア	オンライン	51		1	ジャパンクリエイティブセンター（日本国大使館）
	10/22	ASEAN	主催	日本留学セミナー	オンライン	22		2	岡山大学
	11/15~16	ブルネイ	参加	日本文化祭	対面	255			在ブルネイ日本国大使館、国際交流基金、Times Square Shopping Center
	12/23	ASEAN	主催	キャリアセミナー	オンライン	111	1		
	1/30	シンガポール	共催	日本留学セミナー	対面	8	1		Hwa Chong高校、日本大使館JCC
	2/5	ブルネイ	協力	ブース展示	対面	27			インターナショナルスクールブルネイ
	2/7~8	ブルネイ	参加	高等教育フェア	対面	460	1		ブルネイ教育省
	2/9	ブルネイ	共催	日本留学フェア	対面	24	2		マクタブ高校
	2/9	ブルネイ	参加	海外留学フェアブース出展	対面	25			ジョルドンインターナショナルスクール
	3/6	ASEAN	主催	日本留学セミナー	オンライン	52		9	国立六大学
合計						34,869	362	36	

成果指標データ集

以下の様式については、Ⅰ.の項目は申請者全員記入するものとする。また、Ⅱ.については申請内容に応じて適宜追加するものとする。

Ⅰ. 「共通の成果指標と達成目標」に係る成果指標							
共通：担当重点地域からの外国人留学生数（各年度の5月1日現在を記載）							
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
海外拠点配置地域から高等教育機関への外国人留学生数（在留資格「留学」の者）	目標値		66,848 人	72,477 人	82,938 人	93,399 人	103,861 人
	実績値	60,456 人	73,937 人	- 人	人	人	人

*令和8年3月末時点では未発表

成果指標1：優秀な留学生獲得に向けたリクルーティング活動促進（各年度の累計数を記載）							
		令和5年度*	令和6年度*	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
各拠点が仲介し把握している、日本の高等教育機関への受験者数	目標値		267 人	290 人	332 人	374 人	415 人
	実績値	258 人	321 人	348 人	人	人	人
成果指標2：留学に関する情報収集・発信（各年度の累計数を記載）							
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
各拠点が仲介し把握している、日本の高等教育機関への渡日前入試（現地入試）受験者数	目標値		203 人	207 人	216 人	225 人	234 人
	実績値	336 人	317 人	347 人	人	人	人
成果指標3：帰国留学生とのネットワーク構築及び広報・リクルーティング活動における協力深化及び日本における就職の魅力発信（各年度の累計数を記載）							
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
現地において主催し、帰国留学生会が参画する日本留学イベント（講演会、懇親会、OB訪問等）において、帰国留学生及び卒業後に日本に就職した留学生による働きかけ・助言を受けた 現地の日本留学希望者のうち、その後実際に日本留学をした人数	目標値		40 人	43 人	46 人	51 人	56 人
	実績値	96 人	47 人	77 人	人	人	人

Ⅱ. 「独自の成果指標と達成目標」に係る成果指標（申請内容に応じて記載し、必要があれば指標を追加）							
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
（指標①）SNS投稿数	目標値		1,600 件	1,700 件	1,800 件	1,900 件	2,000 件
	実績値	1,791 件	2,677 件	4,043 件			
（指標②）日本留学フェア・セミナー来場者数	目標値		13,000 人	13,500 人	14,000 人	14,500 人	15,000 人
	実績値	9,496 人	34,850 人	34,869 人			
（指標③）国内教育機関との連携回数	目標値		115 回	120 回	125 回	130 回	135 回
	実績値	109 回	144 回	125 回			
（指標④）現地帰国留学生（同窓会）や日本で就職した元留学生、現役学生との連携回数	目標値		95 回	100 回	105 回	110 回	115 回
	実績値	90 回	107 回	187 回			
（指標⑤）JLPT受験者数	目標値		215,000 人	220,000 人	230,000 人	240,000 人	250,000 人
	実績値	311,896 人	306,374 人	306,714 人			

フォローすべき数値データ

以下の様式については、事業を執行する上でフォローすべきデータの実績値を記載するものとする。

事業としてフォローすべき数値（実績値）					
フォロー数値 1. 優秀な留学生獲得に向けたリクルーティング活動促進（各年度の累計数を記載）					
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度
現地及びオンラインで主催する留学フェア及び説明会の回数	107 件	139 件	件	件	件
在外公館や関係機関が開催するイベントへの参加回数	128 件	73 件	件	件	件
現地の教育機関（高校や大学等）への訪問回数 ※インド・東南アジア地域のみ	146 件	184 件	件	件	件
現地で連携している日本語教育・補充教育実施機関の在籍学生数	2,271 人	7,777 人	人	人	人
各拠点が仲介し把握している、現地の教育機関と日本の教育機関とのマッチング数（大学間交流協定等の締結数及び協定締結に至る前段階の学校紹介件数）	6 件	8 件	件	件	件
各拠点が仲介し把握している、留学希望者と日本の教育機関とのマッチング数（志望校決定件数等）	833 件	970 件	件	件	件
各拠点が仲介し把握している、渡日前入試（現地入試）実施機関数	58 機関	62 機関	機関	機関	機関
フォロー数値 2. 留学に関する情報収集・発信（各年度の累計数を記載）					
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度
各拠点が仲介し把握している、渡日前入試（現地入試）実施機関数	58 機関	62 件	件	件	件
現地における日本留学試験（EJU）受験者数 ※EJU実施地域のみ	1,146 人	1,256 人	人	人	人
各拠点が運営し把握している、SNS、事務所WEBサイト等におけるアクセス数	6,945,919 件	13,915,416 件	件	件	件
各拠点が仲介し把握している、日本の高等教育機関への渡日前入試（現地入試）受験者数	317 人	266 人	人	人	人
フォロー数値 3. 帰国留学生とのネットワーク構築及び広報・リクルーティング活動における協力深化（各年度の累計数を記載）					
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度
現地において主催した日本留学イベントへの帰国留学生協力者数	138 人	257 人	人	人	人
現地において主催し、帰国留学生会が参画する日本留学イベント（講演会、懇親会、OB訪問等）において、帰国留学生及び卒業後に日本に就職した留学生による働きかけ・助言を受けた現地の日本留学希望者	15,587 人	25,078 人	人	人	人

